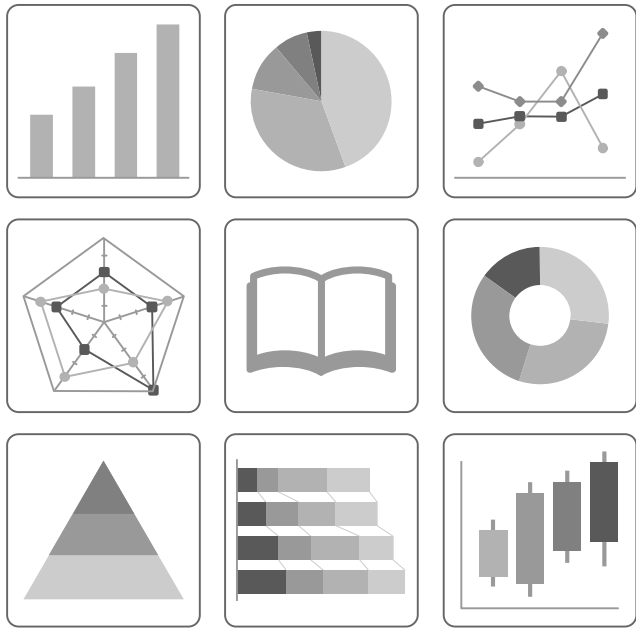


川口市
子ども・子育て支援に関する二一ズ調査
子どもの生活実態調査
子ども・若者意識調査
結果報告書（速報版）



令和6年3月

川口市

目 次

I 調査の概要	1
1 調査の目的	1
2 調査対象	1
3 調査期間	1
4 調査方法	1
5 回収状況	2
6 調査結果の表示方法	2
II 調査結果	3
子ども・子育て支援に関するニーズ調査	3
1 就学前保護者	3
(1) 封筒のあて名のお子さんご家族の状況について	3
(2) 子どもの育ちをめぐる環境について	3
(3) あて名のお子さんの保護者の働く状況について	5
(4) あて名のお子さんの平日の定期的な教育、保育事業の利用状況について	6
(5) あて名のお子さんの地域子育て支援拠点事業の利用状況について	9
(6) あて名のお子さんが病気のときの対応について	11
(7) あて名のお子さんの不定期の預かりや宿泊を伴う一時預かりなどの利用について	15
(8) あて名のお子さんが来年度小学校に入学する方について	15
(9) すべての方に、育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について	16
(10) 川口市の子育て支援について	17
2 小学生保護者	22
(1) 封筒のあて名のお子さんご家族の状況について	22
(2) 子どもの育ちをめぐる環境について	22
(3) あて名のお子さんの保護者の働く状況について	23
(4) あて名のお子さんが病気のときの対応について	25
(5) あて名のお子さんの一時預かりなどの利用について	28
(6) あて名のお子さんの放課後の過ごし方について	28
(7) 学校生活について	32
(8) 川口市の子育て支援について	33
子どもの生活実態調査	38
3 小学5年生本人	38
(1) 学校以外でのふだんの生活の状況について	38
(2) 学校のことや勉強のことについて	38

(3) あなたの健康状況について	39
(4) あなたがふだん考えていることについて.....	39
4 中学2年生本人	40
(1) 学校以外でのふだんの生活の状況について.....	40
(2) 学校のことや勉強のことについて	40
(3) あなたの健康状況について	41
(4) あなたがふだん考えていることについて.....	41
5 中学生保護者	42
(1) 封筒のあて名のお子さんご家族の状況について.....	42
(2) 子どもの育ちをめぐる環境について	43
(3) あて名のお子さんの保護者の働く状況について.....	44
(4) 子育て支援について	44
子ども・若者意識調査	48
6 小学生	48
7 中学生	51
8 高校生	54
9 若者	57
(1) インターネット等について	57
(2) 子育てについて	58
(3) 小学生や中学生の頃の経験について	59
(4) 自分自身、普段の生活、悩みなどについて.....	60
(5) 将来について	63
(6) 川口市について	64

I 調査の概要

1 調査の目的

(仮称) 川口市子ども計画の策定の基礎資料として、調査を実施したものです。

2 調査対象

子ども・子育て支援に関するニーズ調査
市内在住の就学前児童、小学生の保護者

子どもの生活実態調査
市内在住の就学前児童、小学生、中学2年生の保護者及び小学5年生、中学2年生本人

子ども・若者意識調査
市内の小学校に通う小学5年生、市内の中学校に通う中学2年生、川口市立高等学校に通う高校2年生、18歳から29歳の市民

3 調査期間

令和5年12月から令和6年1月

4 調査方法

郵送配布・郵送回収及びインターネット回答

5 回収状況

【子ども・子育て支援に関するニーズ調査】

	配布数	有効回答数	有効回答率
就学前保護者	3,800 通	1,472 通	38.7%
小学生保護者	3,800 通	1,553 通	40.9%

【子どもの生活実態調査】

	配布数	有効回答数	有効回答率
小学5年生本人	636 通	219 通	34.4%
中学2年生本人	650 通	227 通	34.9%
就学前保護者	3,800 通 (※1)	1,472 通	38.7%
小学生保護者	3,800 通 (※1)	1,553 通	40.9%
中学生保護者	650 通	261 通	40.2%

※1 対象者は子ども・子育て支援に関するニーズ調査と同じ

【子ども・若者意識調査】

	配布数	有効回答数	有効回答率
小学生	4,757 通 (※2)	3,543 通	74.5%
中学生	4,563 通 (※3)	2,866 通	62.8%
高校生	446 通 (※4)	412 通	92.4%
若者	5,000 通	974 通	19.5%

※2 市内の小学校に通う小学5年生全員

※3 市内の中学校に通う中学2年生全員

※4 川口市立高等学校に通う高校2年生全員

6 調査結果の表示方法

- ・回答は各質問の回答者数を基数とした百分率(%)で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。

II 調査結果

子ども・子育て支援に関するニーズ調査

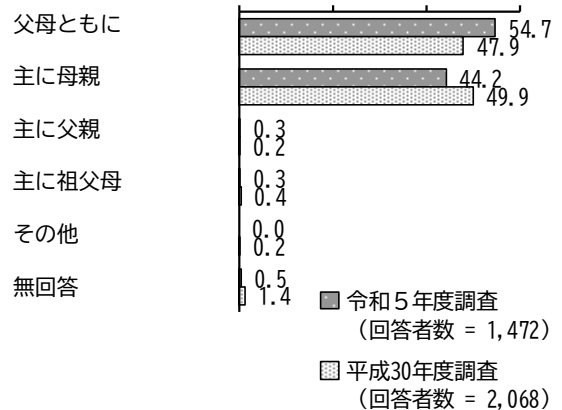
1 就学前保護者

(1) 封筒のあて名のお子さんご家族の状況について

問8 あて名のお子さんの子育てを主に行っているのはどなたですか。あて名のお子さんからみた関係でお答えください。(○は1つ)

「父母ともに」の割合が 54.7%と最も高く、次いで「主に母親」の割合が 44.2%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「父母ともに」の割合が増加しています。一方、「主に母親」の割合が減少しています。

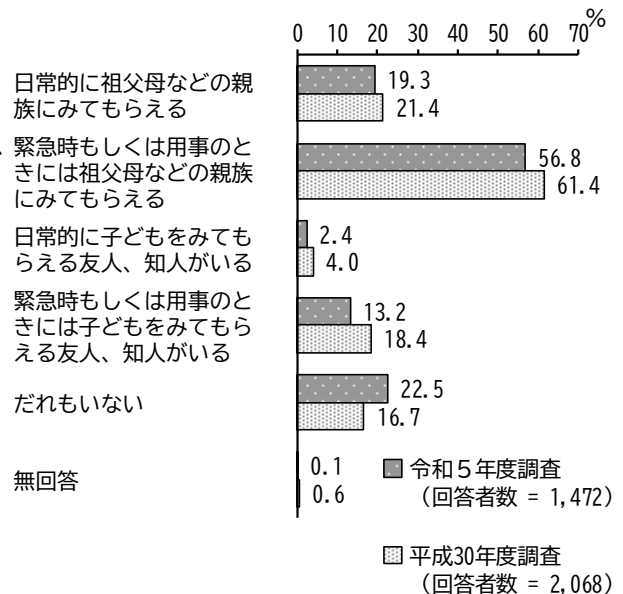


(2) 子どもの育ちをめぐる環境について

問13 日頃、あて名のお子さんをみてもらえる親族、知人はいますか。(あてはまるものすべてに○)

「緊急時もしくは用事的时候には祖父母などの親族にみてもらえる」の割合が 56.8%と最も高く、次いで「だれもいない」の割合が 22.5%、「日常的に祖父母などの親族にみてもらえる」の割合が 19.3%となっています。

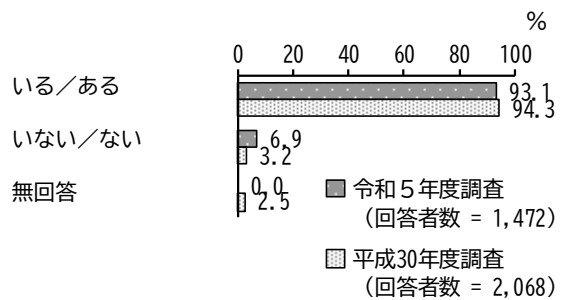
平成 30 年度調査と比較すると、「だれもいない」の割合が増加しています。一方、「緊急時もしくは用事的时候には子どもをみてもらえる友人、知人がいる」の割合が減少しています。



問14 あて名のお子さんの子育てをする上で、気軽に相談できる人や場所はありますか。(○は1つ)

「いる／ある」の割合が93.1%、「いない／ない」の割合が6.9%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

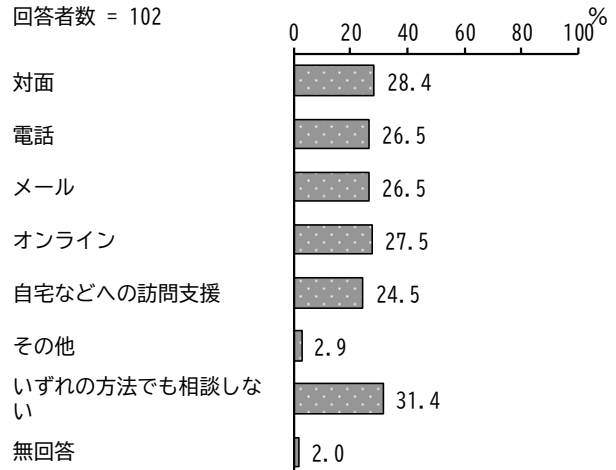


【問14で「2. いない／ない」に○を付けた方】

問15 今後、あて名のお子さんの子育てに関して困りごとが出てきた場合、どのような手段で相談したいですか。(あてはまるものすべてに○)

「いずれの方法でも相談しない」の割合が31.4%と最も高く、次いで「対面」の割合が28.4%、「オンライン」の割合が27.5%となっています。

回答者数 = 102



(3) あて名のお子さんの保護者の働く状況について

【すべての方におうかがいします】

問16 あて名のお子さんの保護者の現在の働く状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。

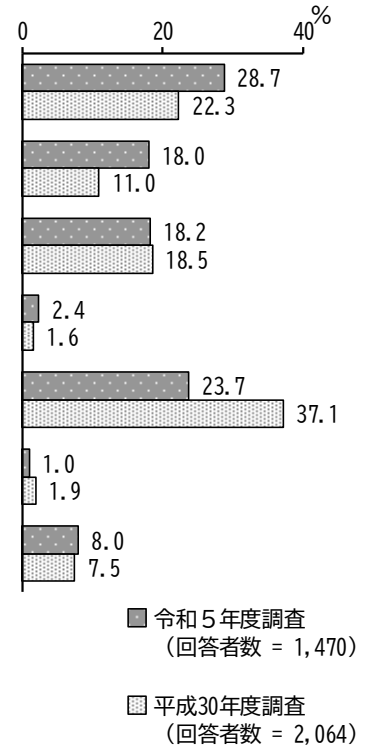
(1) 現在の働く状況は以下のどれですか。（それぞれ○は1つ）

母親

「フルタイムで働いていて産休、育休、介護休業中ではない」の割合が28.7%と最も高く、次いで「以前は働いていたが、今は働いていない」の割合が23.7%、「パート、アルバイトなどで働いていて産休、育休、介護休業中ではない」の割合が18.2%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「フルタイムで働いていて産休、育休、介護休業中ではない」「フルタイムで働いていて産休、育休、介護休業中である」の割合が増加しています。一方、「以前は働いていたが、今は働いていない」の割合が減少しています。

フルタイムで働いていて産休、育休、介護休業中ではない
フルタイムで働いていて産休、育休、介護休業中である
パート、アルバイトなどで働いていて産休、育休、介護休業中ではない
パート、アルバイトなどで働いていて産休、育休、介護休業中である
以前は働いていたが、今は働いていない
これまで働いたことがない
無回答



問16の(1)で「3」または「4」(パート、アルバイトなどで働く)に○を付けた方

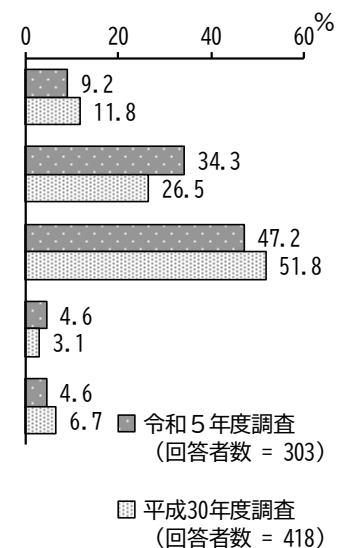
(7) フルタイムへの転換希望はありますか。(○は1つ。内に数字でご記入ください。)

母親

「パート、アルバイトなどで働き続けることを希望」の割合が47.2%と最も高く、次いで「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」の割合が34.3%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」の割合が増加しています。

フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある
フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない
パート、アルバイトなどで働き続けることを希望
パート、アルバイトなどをやめて子育てや家事に専念したい
無回答



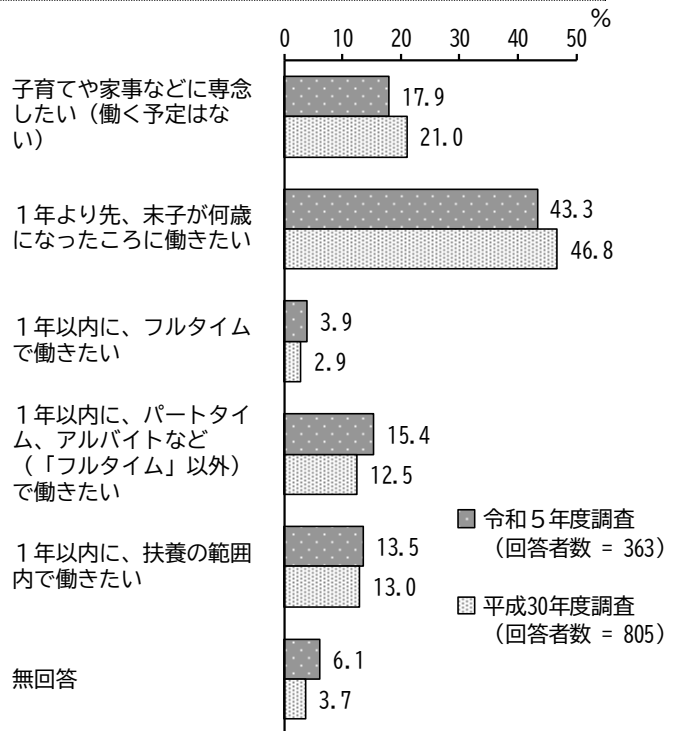
【問16の(1)で「5」または「6」(働いていない)に○を付けた方】

(8) 今後、働く希望はありますか。(○は1つ) 内に数字でご記入ください。

①母親

「1年より先、末子が何歳になったころに働きたい」の割合が43.3%と最も高く、次いで「子育てや家事などに専念したい(働く予定はない)」の割合が17.9%、「1年以内に、パートタイム、アルバイトなど(「フルタイム」以外)で働きたい」の割合が15.4%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

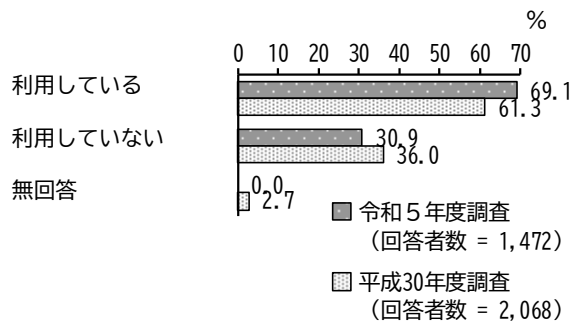


(4) あて名のお子さんの平日の定期的な教育、保育事業の利用状況について

問19 あて名のお子さんは現在、幼稚園や保育所などを定期的に利用していますか。(○は1つ)

「利用している」の割合が69.1%、「利用していない」の割合が30.9%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「利用している」の割合が増加しています。一方、「利用していない」の割合が減少しています。

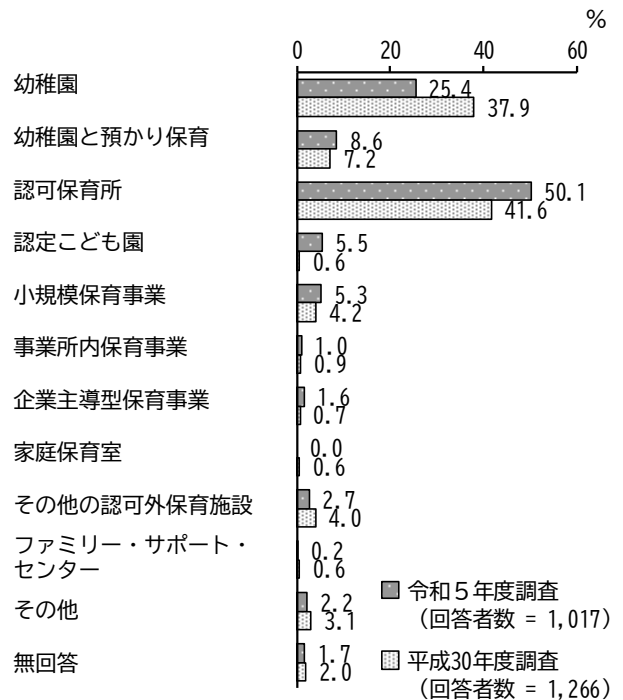


【問 19 で「1. 利用している」に○を付けた方】

問 19-1 あて名のお子さんが、年間を通じて平日に利用している幼稚園や保育所などは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

「認可保育所」の割合が 50.1%と最も高く、次いで「幼稚園」の割合が 25.4%となっています。

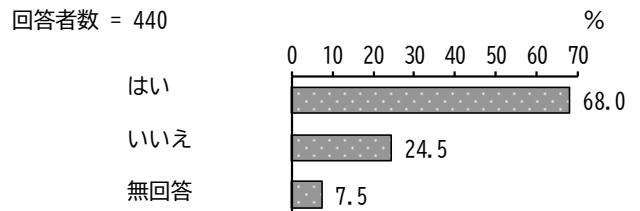
平成 30 年度調査と比較すると、「認可保育所」の割合が増加しています。一方、「幼稚園」の割合が減少しています。



【問 19 で「2. 利用していない」に○を付けた方のうち、あて名のお子さんが0～2歳までの方】

問 19-8 こども誰でも通園制度（仮称）が実施された場合、利用したいと思いますか。(○は1つ)

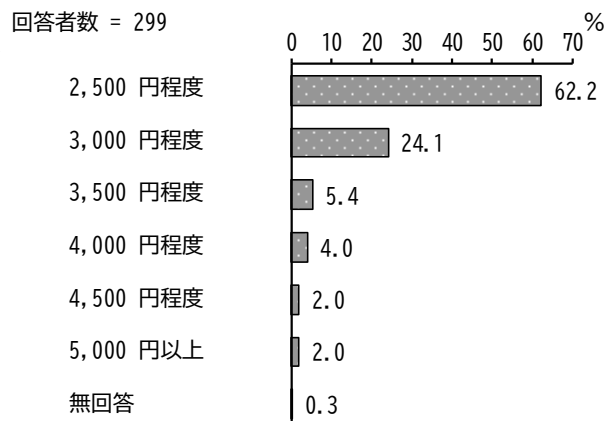
「はい」の割合が 68.0%、「いいえ」の割合が 24.5%となっています。



【問 19-8 で「はい」に○を付けた方】

問 19-9 こども誰でも通園制度（仮称）を利用する場合、1日（5時間程度）あたりいくらまで利用料金を支払うことができますか。(あなたの考えにいちばん近いもの1つに○)

「2,500 円程度」の割合が 62.2%と最も高く、次いで「3,000 円程度」の割合が 24.1%となっています。



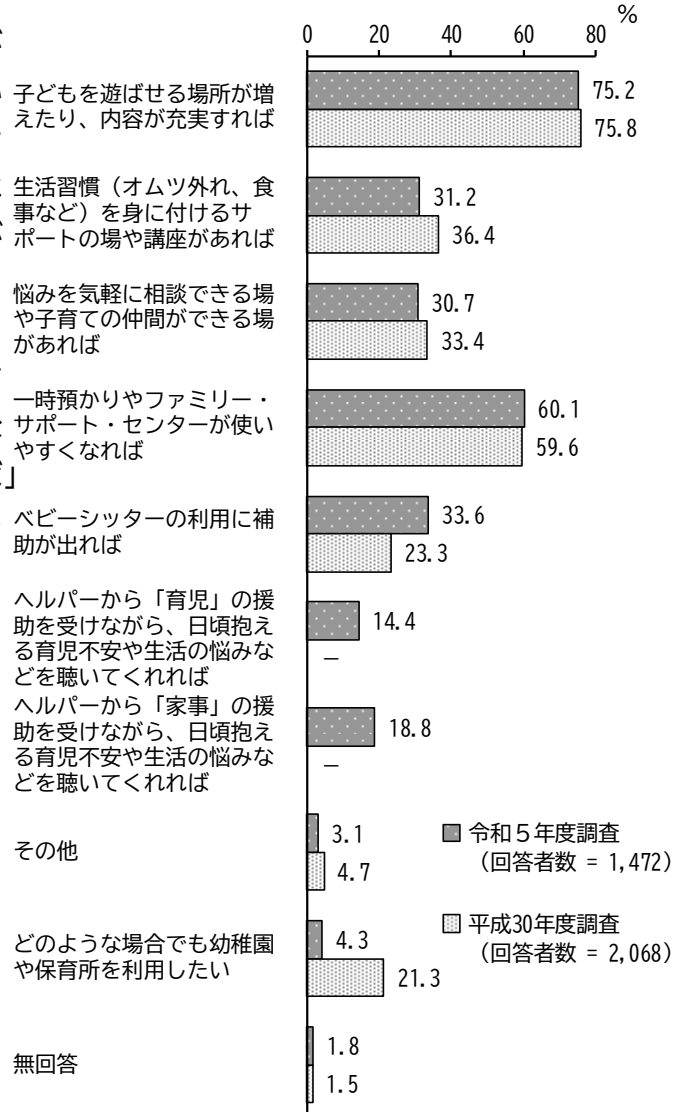
【すべての方におうかがいします】

問 20-4 0～2歳のお子さんを自宅で育児する場合に、どのような支援やサービスがあればよいと思いますか。また、現在、幼稚園や保育所などを利用していない場合は、どのような支援やサービスが増えればよいと思いますか。
(あてはまるものすべてに○)

「子どもを遊ばせる場所が増えたり、内容が充実すれば」の割合が75.2%と最も高く、次いで「一時預かりやファミリー・サポート・センターが使いやすくなれば」の割合が60.1%、「生活習慣（オムツ外れ、食事など）を身に付けるサポートの場や講座があれば」の割合が33.6%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「ベビーシッターの利用に補助が出れば」の割合が増加しています。一方、「生活習慣（オムツ外れ、食事など）を身に付けるサポートの場や講座があれば」

「どのような場合でも幼稚園や保育所を利用したい」の割合が減少しています。



※前回調査では、「ヘルパーから「育児」の援助を受けながら、日頃抱える育児不安や生活の悩みなどを聞いてくれれば」「ヘルパーから「家事」の援助を受けながら、日頃抱える育児不安や生活の悩みなどを聞いてくれれば」の選択肢はありませんでした。

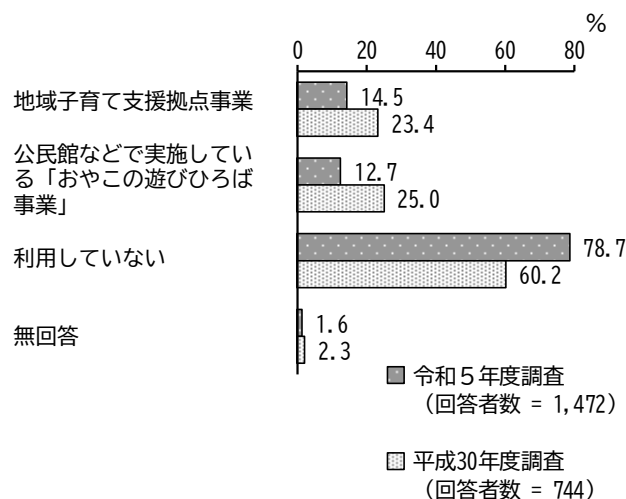
(5) あて名のお子さんの地域子育て支援拠点事業の利用状況について

【すべての方におうかがいします】

問 24 あて名のお子さんは、現在、地域子育て支援拠点事業を利用していますか。おおよその利用回数（頻度）もご記入ください。
（あてはまるものすべてに○。 内に数字でご記入ください。）

「利用していない」の割合が 78.7%と最も高く、次いで「地域子育て支援拠点事業」の割合が 14.5%、「公民館などで実施している「おやこの遊びひろば事業」の割合が 12.7%となっています。

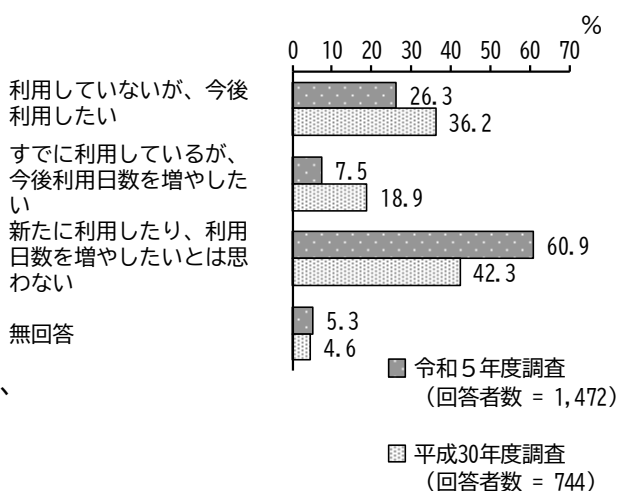
平成 30 年度調査と比較すると、「利用していない」の割合が増加しています。一方、「地域子育て支援拠点事業」「公民館などで実施している「おやこの遊びひろば事業」の割合が減少しています。



問 25 地域子育て支援拠点事業について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいですか。利用したい回数(頻度)もご記入ください。なお、事業の利用には一定の利用者負担が発生する場合があります。
（○は1つ。 内に数字でご記入ください。）

「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」の割合が 60.9%と最も高く、次いで「利用していないが、今後利用したい」の割合が 26.3%となっています。

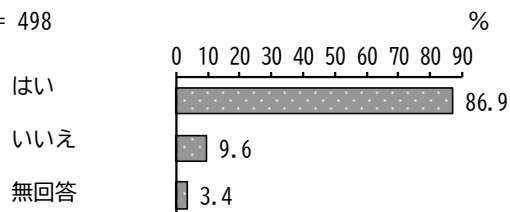
平成 30 年度調査と比較すると、「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」の割合が増加しています。一方、「利用していないが、今後利用したい」「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」の割合が減少しています。



【問 25 で「1. 利用していないが、今後利用したい」か「2. すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」に○を付けた方】

問 25-1 地域子育て支援拠点事業について、ショッピングモール内などに設置されていけば、利用したいと思いますか。(○は1つ)

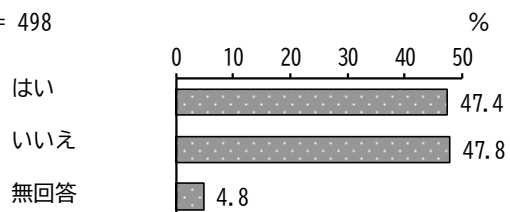
「はい」の割合が 86.9%、「いいえ」の割合が 9.6%となっています。 回答者数 = 498



【問 25 で「1. 利用していないが、今後利用したい」か「2. すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」に○を付けた方】

問 25-2 地域子育て支援拠点事業において、高齢者など多様な方々との交流の場があれば参加したいと思いますか。(○は1つ)

「はい」の割合が 47.4%、「いいえ」の割合が 47.8%となっています。 回答者数 = 498



(6) あて名のお子さんが病気のときの対応について

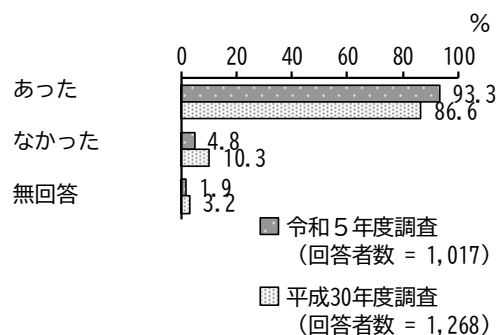
【平日に定期的に幼稚園や保育所などを利用している方におうかがいします】

※それ以外の方は、19 ページの問 27 へお進みください。

問 26 この1年間に、あて名のお子さんが病気やケガで幼稚園や保育所などを休んだことはありますか。(○は1つ)

「あった」の割合が93.3%、「なかった」の割合が4.8%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「あった」の割合が増加しています。一方、「なかった」の割合が減少しています。

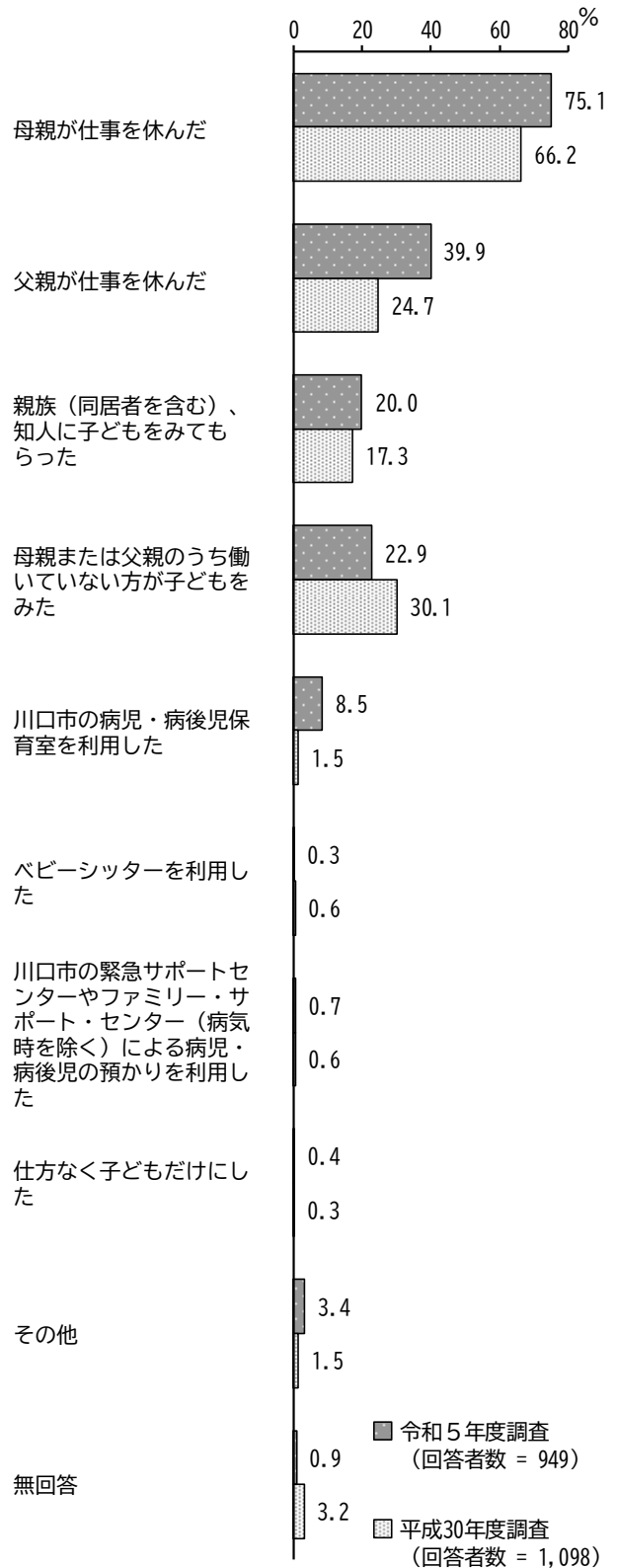


【問 26 で「1. あった」に○を付けた方】

問 26-1 あて名のお子さんが病気やケガで幼稚園や保育所などを休んだときの対応方法はどれですか。(あてはまるものすべてに○。 内に数字でご記入ください。)

「母親が仕事を休んだ」の割合が 75.1%と最も高く、次いで「父親が仕事を休んだ」の割合が 39.9%、「母親または父親のうち働いていない方が子どもをみた」の割合が 22.9%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「母親が仕事を休んだ」「父親が仕事を休んだ」「川口市の病児・病後児保育室を利用した」の割合が増加しています。一方、「母親または父親のうち働いていない方が子どもをみた」の割合が減少しています。

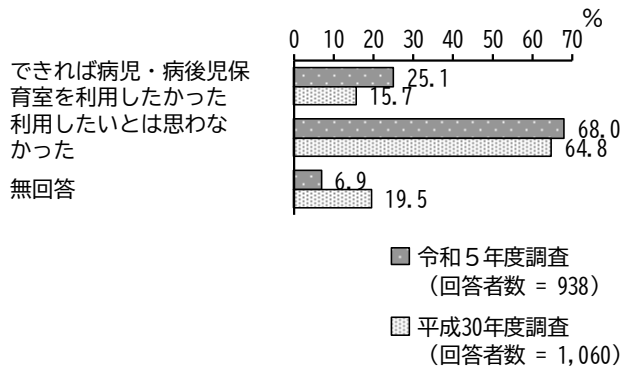


【問 26-1 で「5. 川口市の病児・病後児保育室を利用した」以外に○を付けた方】

問 26-2 そのとき、「できれば病児・病後児保育室を利用したい」と思いましたか。
 (○は1つ。 内に数字でご記入ください。)

「できれば病児・病後児保育室を利用したかった」の割合が 25.1%、「利用したいとは思わなかった」の割合が 68.0%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「できれば病児・病後児保育室を利用したかった」の割合が増加しています。

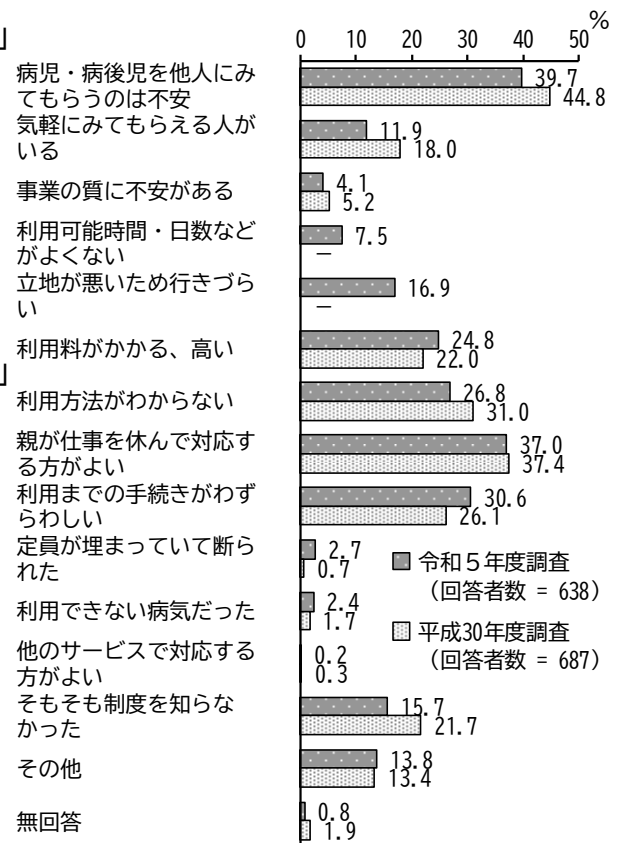


【問 26-2 で「2. 利用したいとは思わなかった」に○を付けた方】

問 26-3 あなたが病児・病後児保育室を利用しない理由は何ですか。
 (あてはまるものすべてに○)

「病児・病後児を他人にみてもらうのは不安」の割合が 39.7%と最も高く、次いで「親が仕事を休んで対応する方がよい」の割合が 37.0%、「利用までの手続きがわずらわしい」の割合が 30.6%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「病児・病後児を他人にみてもらうのは不安」「気軽にみてもらえる人がいる」「そもそも制度を知らなかった」の割合が減少しています。

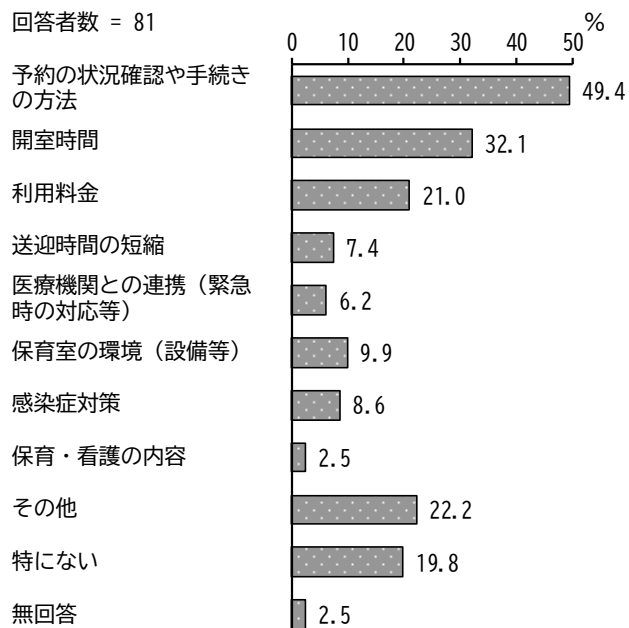


※前回調査では、「利用可能時間・日数などがよくない」「立地が悪いため行きづらい」の選択肢はありませんでした。

【問 26-1 で「5. 川口市の病児・病後児保育室を利用した」に○を付けた方】

問 26-4 あなたが病児・病後児保育室を利用されたときに、改善する必要があるとお感じになられたことはありましたか。(あてはまるものすべてに○)

「予約の状況確認や手続きの方法」の割合が 49.4%と最も高く、次いで「開室時間」の割合が 32.1%、「利用料金」の割合が 21.0%となっています。



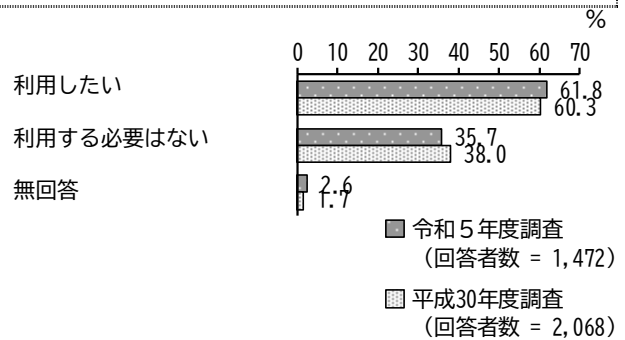
(7) あて名のお子さんの不定期の預かりや宿泊を伴う一時預かりなどの利用について

【すべての方におうかがいします】

問 28 あて名のお子さんについて、保護者の用事などの目的で、お子さんを預けたいですか。(1または2のどちらかに○。1に○を付けた方はその理由をア～ケのあてはまるものすべてに○をし、1年間のおおよその、利用したい日数を 内にご記入ください。)

「利用したい」の割合が61.8%、「利用する必要はない」の割合が35.7%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

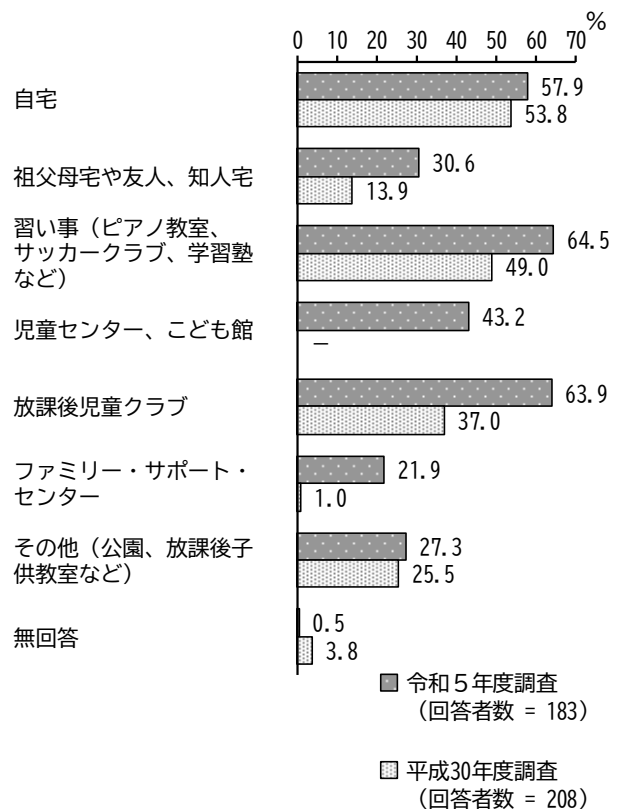


(8) あて名のお子さんが来年度小学校に入学する方について

問 30 あて名のお子さんが小学校に入ったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいですか。あてはまるものを選択し、それぞれ希望する週（月）あたり日数をご記入ください。また、「5. 放課後児童クラブ」を選択した場合には、利用したい時間も 内にご記入ください。

「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」の割合が64.5%と最も高く、次いで「放課後児童クラブ」の割合が63.9%、「自宅」の割合が57.9%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「祖父母宅や友人、知人宅」「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」「放課後児童クラブ」「ファミリー・サポート・センター」の割合が増加しています。



※前回調査では、「児童センター、こども館」の選択肢はありませんでした。

(9) すべての方に、育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について

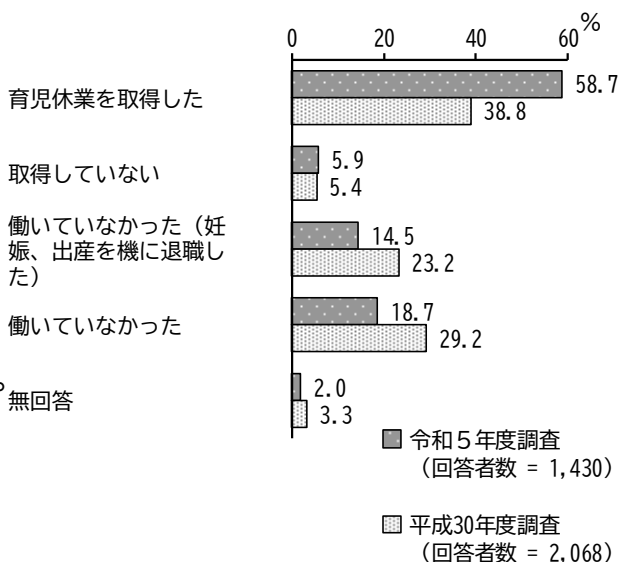
【すべての方におうかがいします】

問31 あて名のお子さんが生まれたとき、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。(それぞれ○は1つ) また、取得していない方はその理由をお選びください。

①母親

「育児休業を取得した」の割合が58.7%と最も高く、次いで「働いていなかった」の割合が18.7%、「働いていなかった(妊娠、出産を機に退職した)」の割合が14.5%となっています。

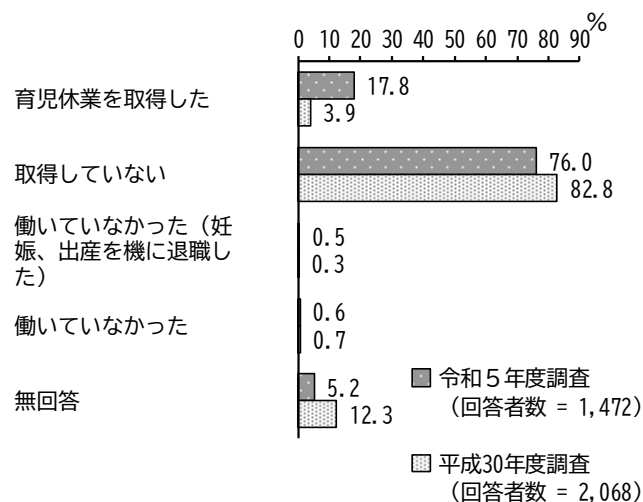
平成30年度調査と比較すると、「育児休業を取得した」の割合が増加しています。一方、「働いていなかった(妊娠、出産を機に退職した)」の割合が減少しています。「働いていなかった」の割合が減少しています。



②父親

「取得していない」の割合が76.0%と最も高く、次いで「育児休業を取得した」の割合が17.8%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「育児休業を取得した」の割合が増加しています。一方、「取得していない」の割合が減少しています。



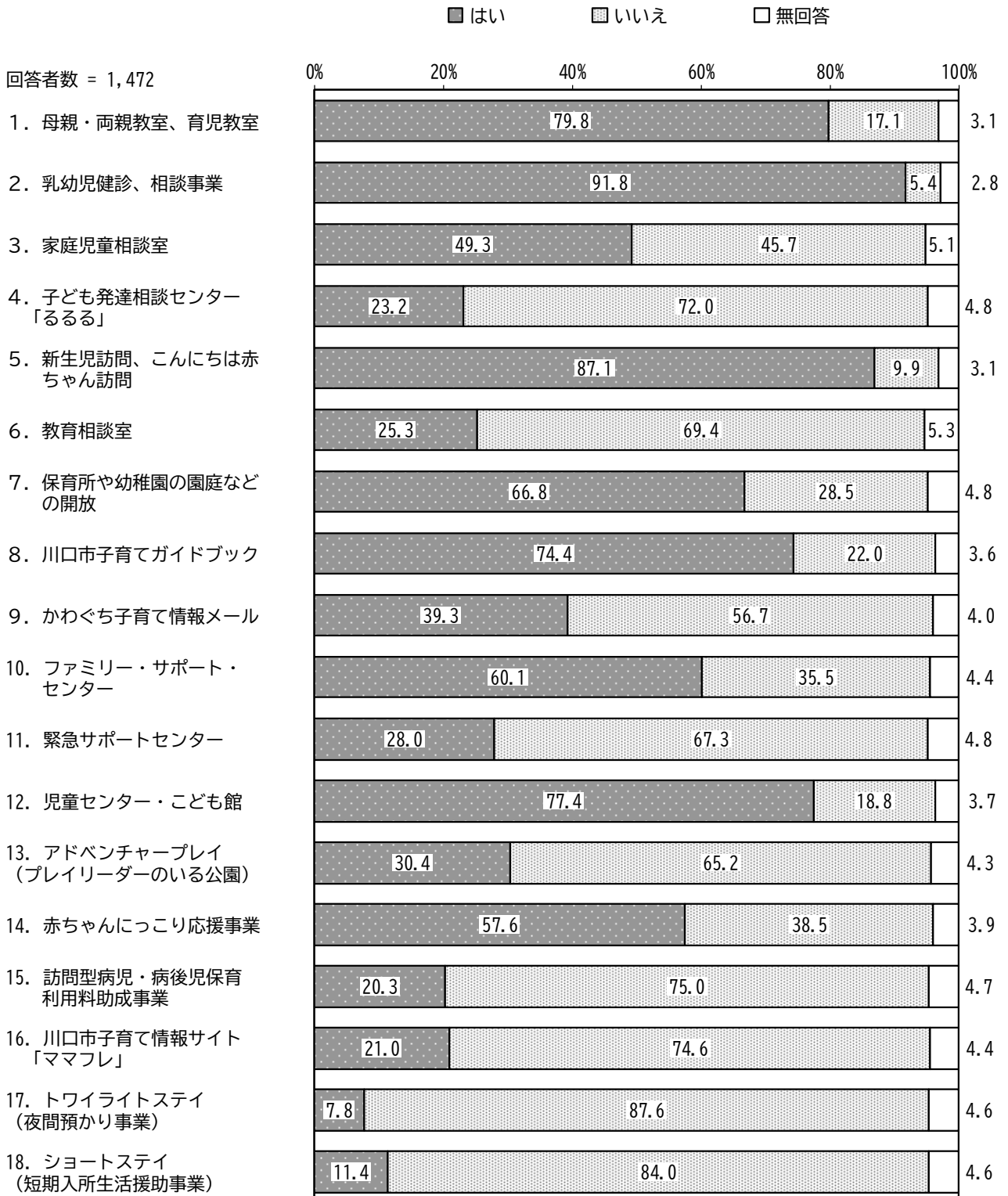
(10) 川口市の子育て支援について

※問 33 以降の設問は、あて名のお子さん以外も含めてお答えください。

問 33 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。(それぞれ、A～Cの項目ごとに○は1つ)

A 知っている

『17. トワイライトステイ（夜間預かり事業）』『18. ショートステイ（短期入所生活援助事業）』で「はい」の割合が低くなっています。

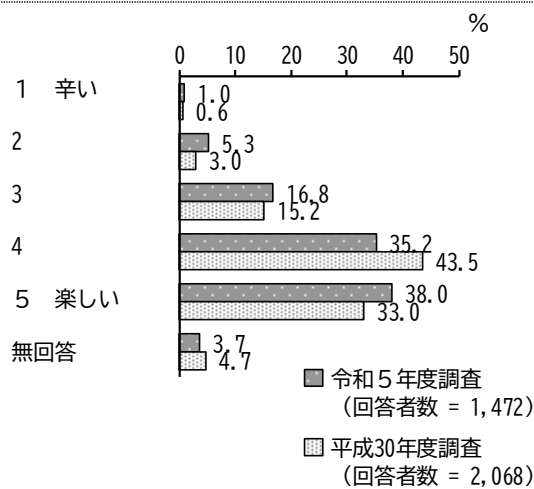


【すべての方におうかがいします】

問 35 あなたは、子育てが楽しいですか。それとも辛いですか。
(あてはまる番号に○を1つ)

「5 楽しい」の割合が 38.0%と最も高く、
次いで「4」の割合が 35.2%、「3」の割合が
16.8%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「4」の割合が
減少しています。



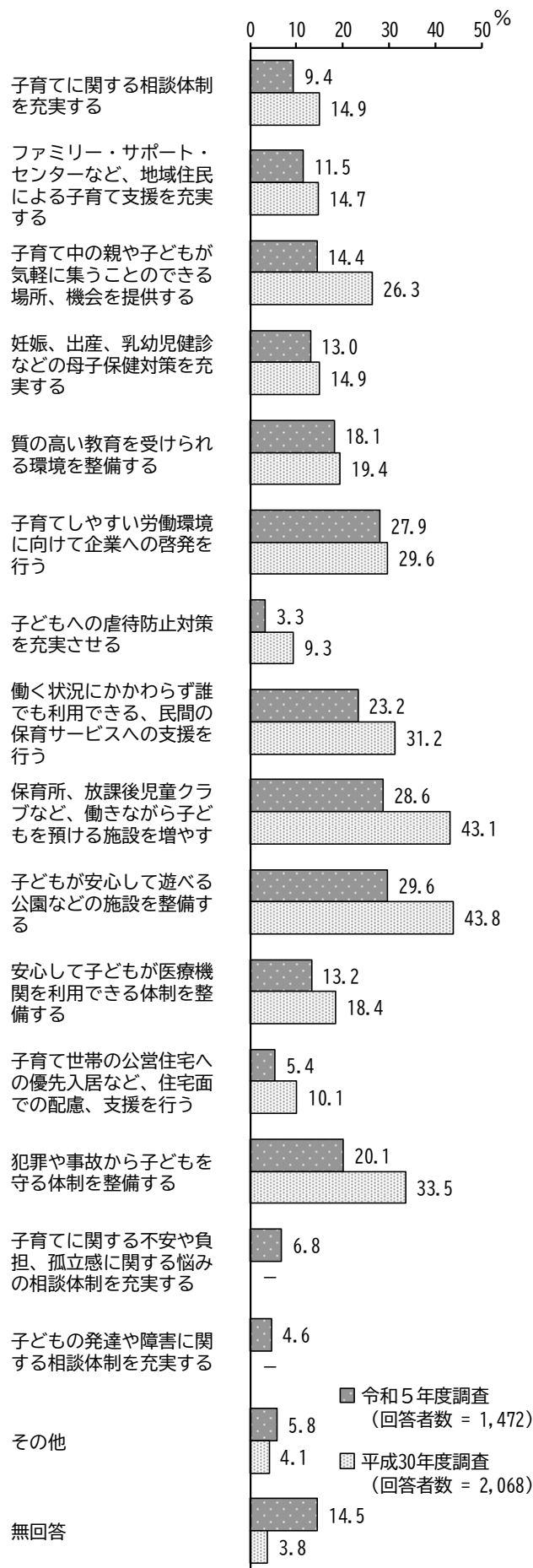
問 36 子育てをする中で、どのような支援、対策が有効だと思いますか。
(○は3つまで)

「子どもが安心して遊べる公園などの施設を整備する」の割合が 29.6%と最も高く、次いで「保育所、放課後児童クラブなど、働きながら子どもを預ける施設を増やす」の割合が 28.6%、「子育てしやすい労働環境に向けて企業への啓発を行う」の割合が 27.9%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「子育てに関する相談体制を充実する」「子育て中の親や子どもが気軽に集うことのできる場所、機会を提供する」「子どもへの虐待防止対策を充実させる」

「働く状況にかかわらず誰でも利用できる、民間の保育サービスへの支援を行う」「保育所、放課後児童クラブなど、働きながら子どもを預ける施設を増やす」「子どもが安心して遊べる公園などの施設を整備する」「安心して子どもが医療機関を利用できる体制を整備する」「犯罪や事故から子どもを守る体制を整備する」の割合が減少しています。

※前回調査では、「子育てに関する不安や負担、孤立感に関する悩みの相談体制を充実する」「子どもの発達や障害に関する相談体制を充実する」の選択肢はありませんでした。

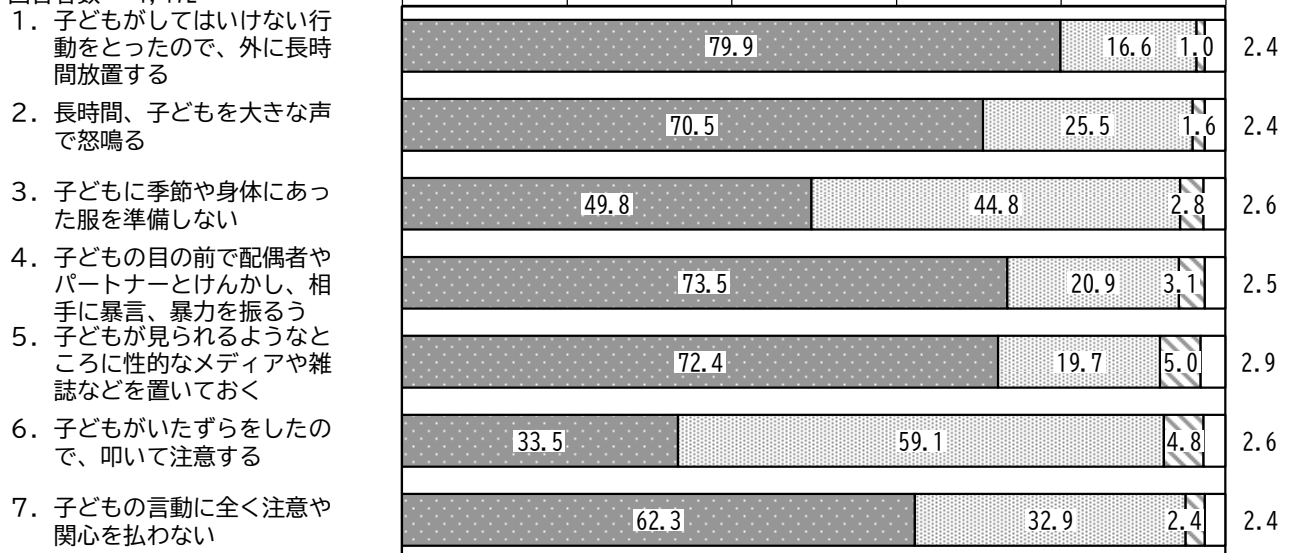


問 37 下記の行動は、「児童虐待」にあたると思いますか。(それぞれ○は1つ)

『6. 子どもがいたずらをしたので、叩いて注意する』で「児童虐待の場合とそうでない場合がある」の割合が高くなっています。

- どんな場合も児童虐待にあたる
- ▨ 児童虐待の場合とそうでない場合がある
- ▩ 児童虐待にはあたらない
- 無回答

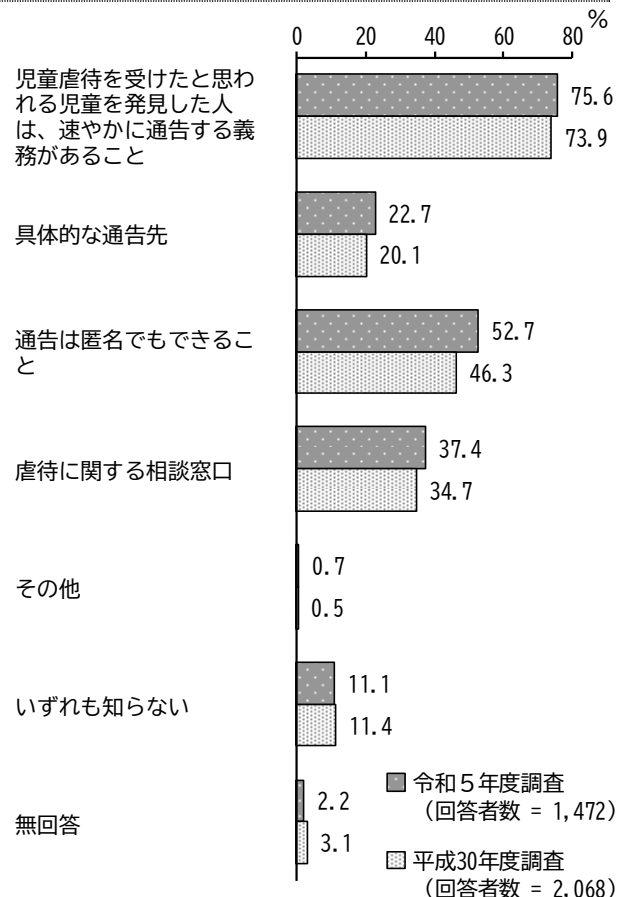
回答者数 = 1,472



問 38 あなたが、児童虐待について知っていることはなんですか。(あてはまるものすべてに○)

「児童虐待を受けたと思われる児童を発見した人は、速やかに通告する義務があること」の割合が 75.6%と最も高く、次いで「通告は匿名でもできること」の割合が 52.7%、「虐待に関する相談窓口」の割合が 37.4%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「通告は匿名でもできること」の割合が増加しています。

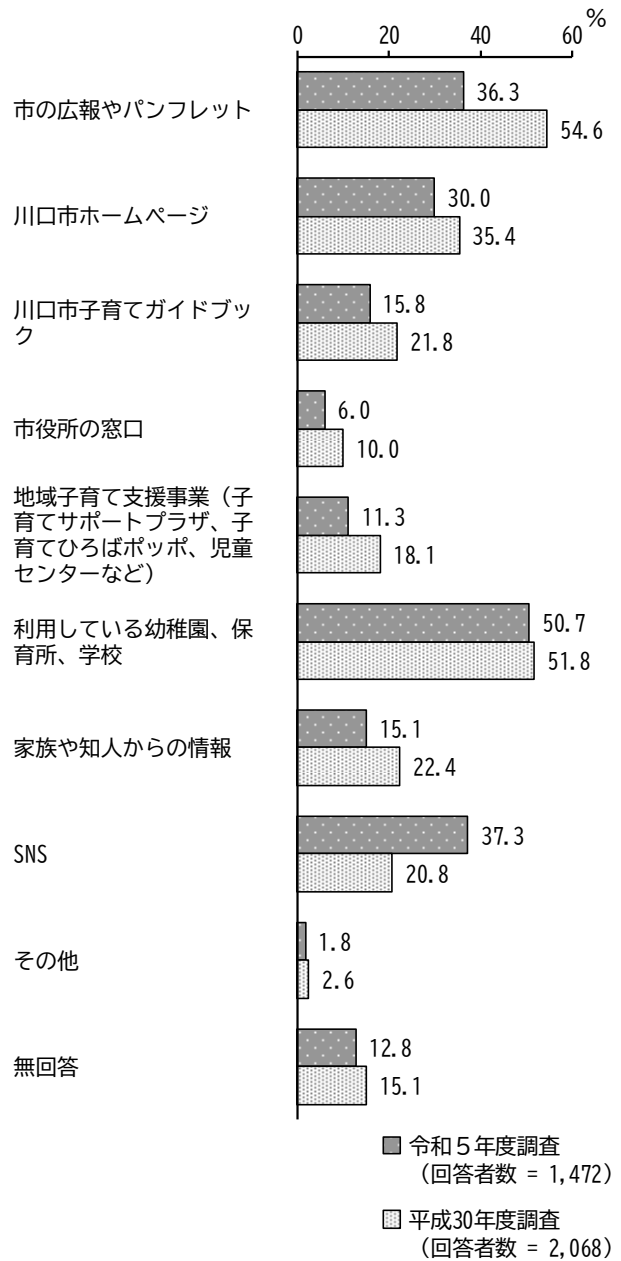


問 39 あなたは、市の子どもに関する施策などの情報をどのような方法で受け取っていますか。また、今後どのような方法で受け取りたいですか。
(あてはまるものすべてに○)

B 今後、受け取りたい方法

「利用している幼稚園、保育所、学校」の割合が 50.7%と最も高く、次いで「SNS」の割合が 37.3%、「市の広報やパンフレット」の割合が 36.3%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「SNS」の割合が増加しています。一方、「市の広報やパンフレット」「川口市子育てガイドブック」「川口市ホームページ」「地域子育て支援事業（子育てサポートプラザ、子育てひろばポッポ、児童センターなど）」「家族や知人からの情報」の割合が減少しています。



2 小学生保護者

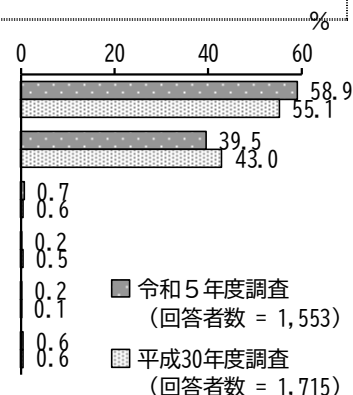
(1) 封筒のあて名のお子さんをご家族の状況について

問8 あて名のお子さんの子育てを主に行っているのはどなたですか。あて名のお子さんからみた関係でお答えください。(○は1つ)

「父母ともに」の割合が 58.9%と最も高く、次いで「主に母親」の割合が 39.5%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

父母ともに
主に母親
主に父親
主に祖父母
その他
無回答



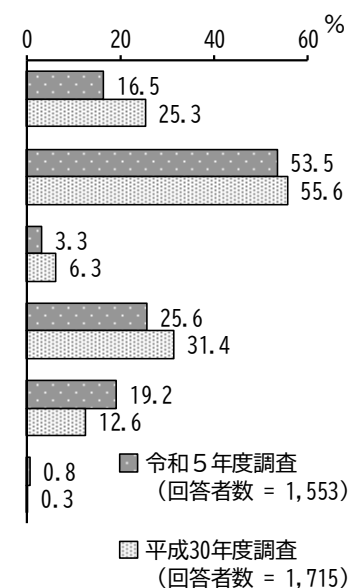
(2) 子どもの育ちをめぐる環境について

問13 日頃、あて名のお子さんをみてもらえる親族、知人はいますか。(あてはまるものすべてに○)

「緊急時もしくは用事的时候には祖父母などの親族にみてもらえる」の割合が 53.5%と最も高く、次いで「緊急時もしくは用事的时候には子どもをみてもらえる友人、知人がいる」の割合が 25.6%、「だれもいない」の割合が 19.2%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「だれもいない」の割合が増加しています。一方、「日常的に祖父母などの親族にみてもらえる」「緊急時もしくは用事的时候には子どもをみてもらえる友人、知人がいる」の割合が減少しています。

日常的に祖父母などの親族にみてもらえる
緊急時もしくは用事的时候には祖父母などの親族にみてもらえる
日常的に子どもをみてもらえる友人、知人がいる
緊急時もしくは用事的时候には子どもをみてもらえる友人、知人がいる
だれもいない
無回答

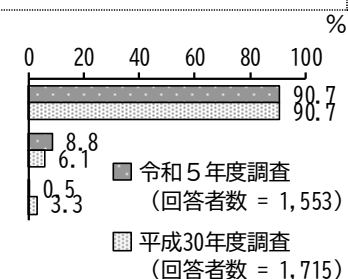


問14 あて名のお子さんの子育てをする上で、気軽に相談できる人や場所がありますか。(○は1つ)

「いる／ある」の割合が 90.7%、「いない／ない」の割合が 8.8%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

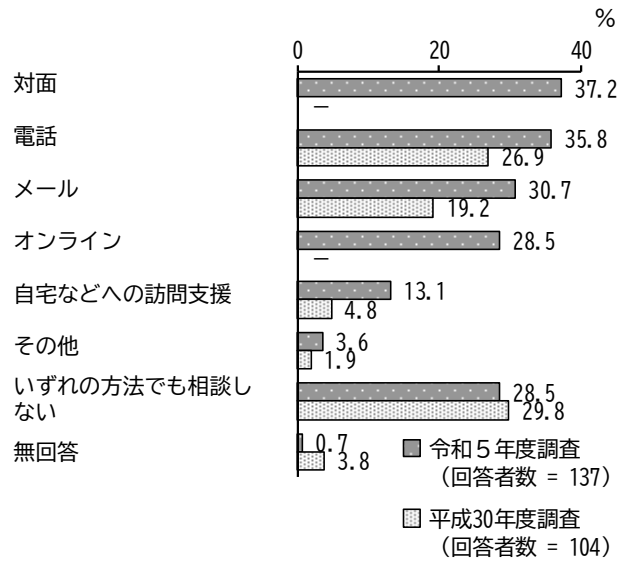
いる／ある
いない／ない
無回答



【問14で「2. いない／ない」に○を付けた方】

問15 今後、あて名のお子さんの子育てに関して困りごとが出てきた場合、どのような手段で相談したいですか。(あてはまるものすべてに○)

「対面」の割合が37.2%と最も高く、次いで「電話」の割合が35.8%、「メール」の割合が30.7%となっています。
平成30年度調査と比較すると、「電話」「メール」「自宅などへの訪問支援」の割合が増加しています。



※前回調査では、「対面」「オンライン」の選択肢はありませんでした。

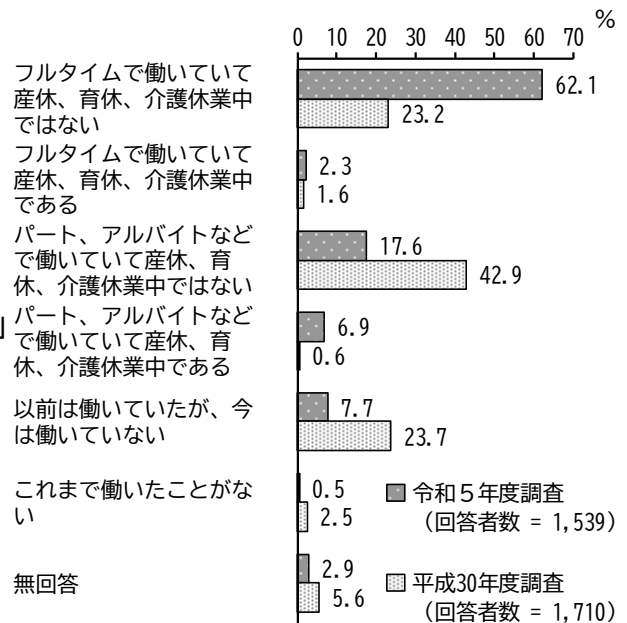
(3) あて名のお子さんの保護者の働く状況について

問17 あて名のお子さんの保護者の現在の働く状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。

(1) 現在の働く状況は以下のどれですか。(それぞれ○は1つ)

母親

「フルタイムで働いていて産休、育休、介護休業中ではない」の割合が62.1%と最も高く、次いで「パート、アルバイトなどで働いていて産休、育休、介護休業中ではない」の割合が17.6%となっています。
平成30年度調査と比較すると、「フルタイムで働いていて産休、育休、介護休業中ではない」「パート、アルバイトなどで働いていて産休、育休、介護休業中である」の割合が増加しています。一方、「パート、アルバイトなどで働いていて産休、育休、介護休業中ではない」「以前は働いていたが、今は働いていない」の割合が減少しています。



【問17の(1)で「3」または「4」(パート、アルバイトなどで働く)に○を付けた方】

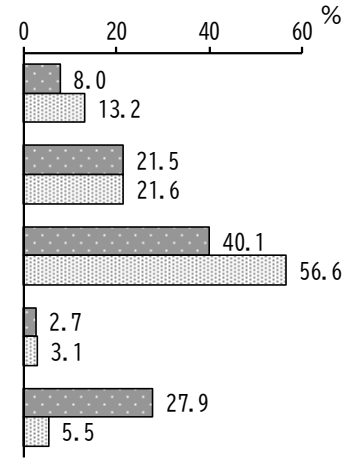
(7) フルタイムへの転換希望はありますか。
(○は1つ。 内に数字でご記入ください。)

母親

「パート、アルバイトなどで働き続けることを希望」の割合が40.1%と最も高く、次いで「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」の割合が21.5%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」「パート、アルバイトなどで働き続けることを希望」の割合が減少しています。

フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある
フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない
パート、アルバイトなどで働き続けることを希望
パート、アルバイトなどをやめて子育てや家事に専念したい
無回答



■ 令和5年度調査 (回答者数 = 377)
▨ 平成30年度調査 (回答者数 = 744)

【問17の(1)で「5」または「6」(働いていない)に○を付けた方】

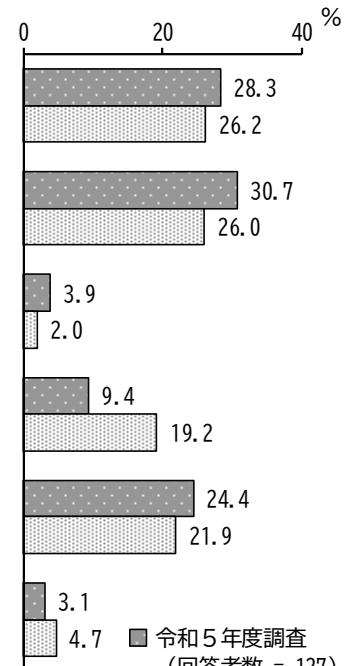
(8) 今後、働く希望はありますか。(○は1つ。 内に数字でご記入ください。)

①母親

「1年より先、末子が 歳になったころに働きたい」の割合が30.7%と最も高く、次いで「子育てや家事などに専念したい(働く予定はない)」の割合が28.3%、「1年以内に、扶養の範囲内で働きたい」の割合が24.4%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「1年以内に、パートタイム、アルバイトなど(「フルタイム」以外)で働きたい」の割合が減少しています。

子育てや家事などに専念したい(働く予定はない)
1年より先、末子が歳になったころに働きたい
1年以内に、フルタイムで働きたい
1年以内に、パートタイム、アルバイトなど(「フルタイム」以外)で働きたい
1年以内に、扶養の範囲内で働きたい
無回答



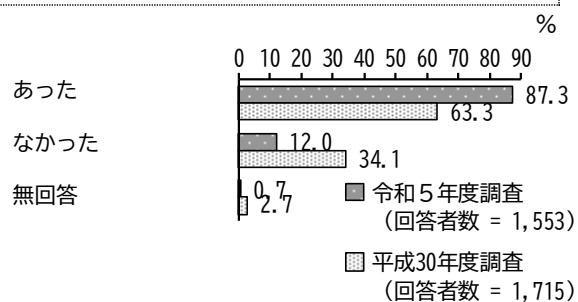
■ 令和5年度調査 (回答者数 = 127)
▨ 平成30年度調査 (回答者数 = 477)

(4) あて名のお子さんが病気のときの対応について

問 20 この1年間に、あて名のお子さんが病気やケガで小学校を休んだことはありますか。(○は1つ)

「あった」の割合が87.3%、「なかった」の割合が12.0%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「あった」の割合が増加しています。一方、「なかった」の割合が減少しています。

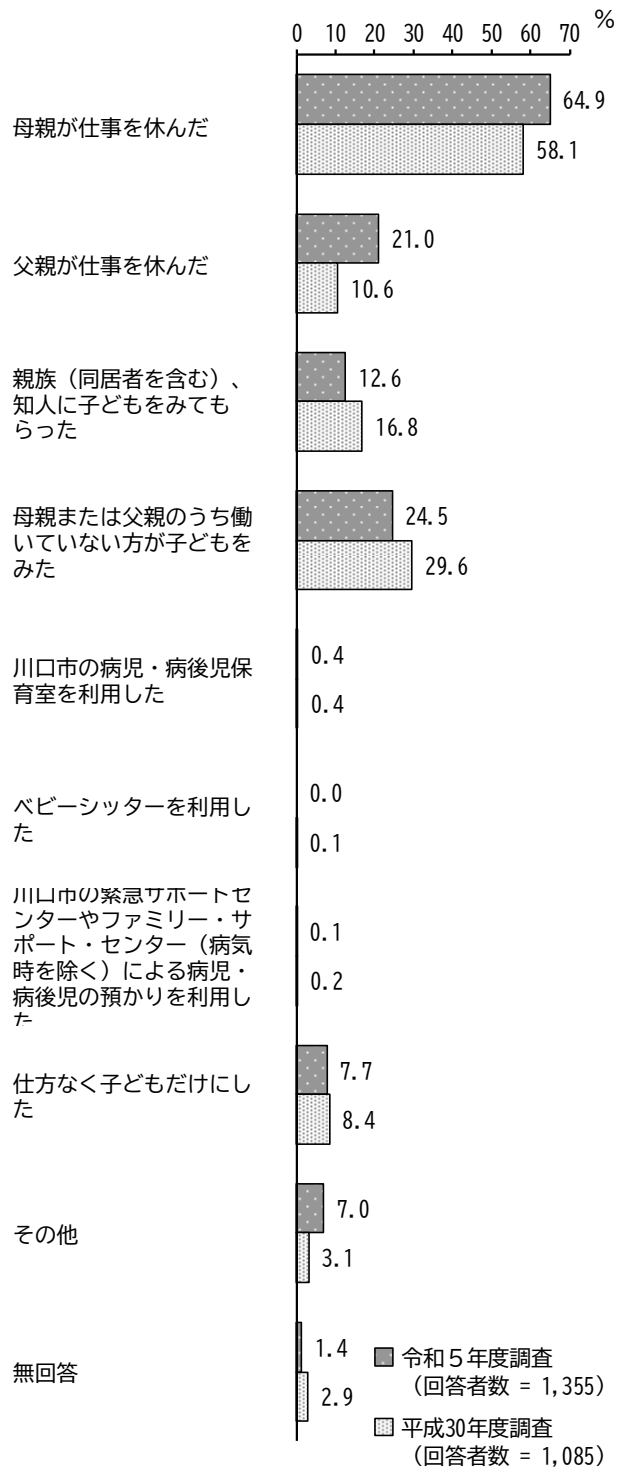


【問 20 で「1. あった」に○を付けた方】

問 20-1 あて名のお子さんが病気やケガで小学校を休んだときの対応方法はどれですか。(あてはまるものすべてに○。 内に数字でご記入ください。)

「母親が仕事を休んだ」の割合が 64.9%と最も高く、次いで「母親または父親のうち働いていない方が子どもをみた」の割合が 24.5%、「父親が仕事を休んだ」の割合が 21.0%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「母親が仕事を休んだ」「父親が仕事を休んだ」の割合が増加しています。一方、「母親または父親のうち働いていない方が子どもをみた」の割合が減少しています。

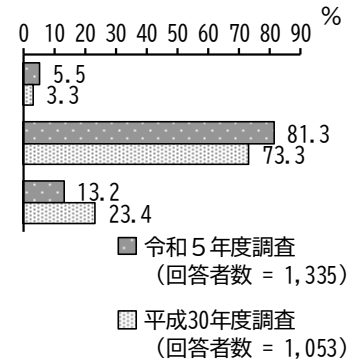


【問 20-1 で「5. 川口市の病児・病後児保育室を利用した」以外に○を付けた方】

問 20-2 そのとき、「できれば病児・病後児保育室を利用したい」と思いましたか。
(○は1つ。 内に数字でご記入ください。)

「できれば病児・病後児保育室を利用したかった」の割合が 5.5%、「利用したいとは思わなかった」の割合が 81.3%となっています。
平成 30 年度調査と比較すると、「利用したいとは思わなかった」の割合が増加しています。

できれば病児・病後児保育室を利用したかった
利用したいとは思わなかった
無回答

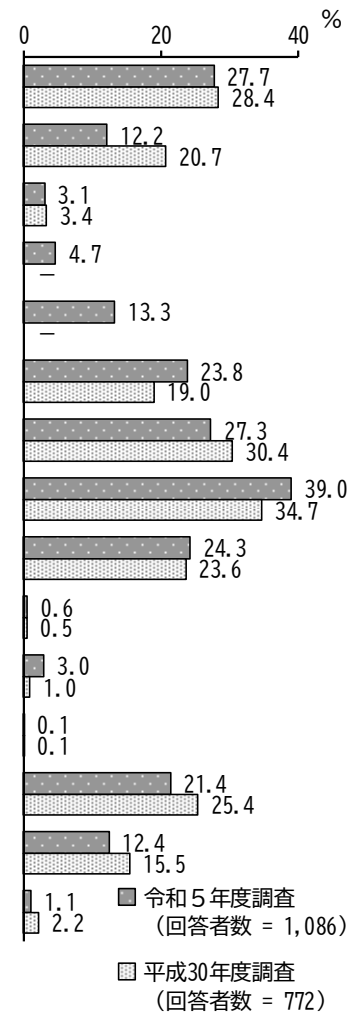


【問 20-2 で「2. 利用したいとは思わなかった」に○を付けた方】

問 20-3 あなたが病児・病後児保育室を利用しない理由は何ですか。
(あてはまるものすべてに○)

「親が仕事を休んで対応する方がよい」の割合が 39.0%と最も高く、次いで「病児・病後児を他人にみてもらうのは不安」の割合が 27.7%、「利用方法がわからない」の割合が 27.3%となっています。
平成 30 年度調査と比較すると、「気軽にみてもらえる人がいる」の割合が減少しています。

病児・病後児を他人にみてもらうのは不安
気軽にみてもらえる人がいる
事業の質に不安がある
利用可能時間・日数がよくない
立地が悪いため行きづらい
利用料がかかる、高い
利用方法がわからない
親が仕事を休んで対応する方がよい
利用までの手続きがわずらわしい
定員が埋まっていて断られた
利用できない病気だった
他のサービスで対応する方がよい
そもそも制度を知らなかった
その他
無回答



※前回調査では、「利用可能時間・日数がよくない」「立地が悪いため行きづらい」の選択肢はありませんでした。

(5) あて名のお子さんの一時預かりなどの利用について

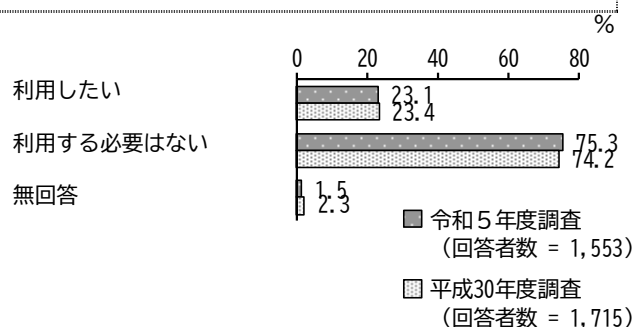
【すべての方におうかがいします】

問 22 あて名のお子さんについて、保護者の用事などの目的で、お子さんを預けたいですか。

(1 または 2 のどちらかに○。1 に○を付けた方はその理由をア～ケのあてはまるものすべてに○をし、1 年間のおおよその、利用したい日数を 内にご記入ください。)

「利用したい」の割合が 23.1%、「利用する必要はない」の割合が 75.3%となっています。

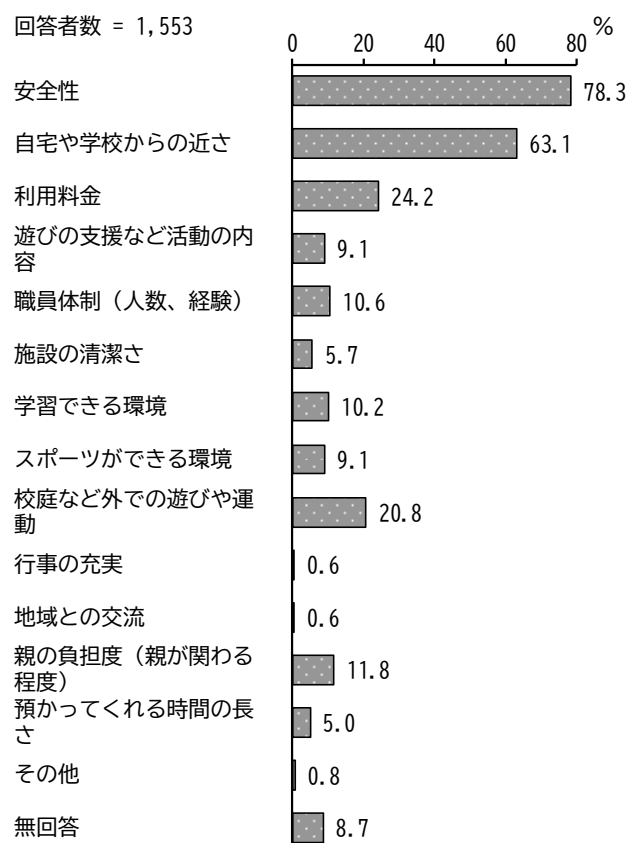
平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



(6) あて名のお子さんの放課後の過ごし方について

問 24 あて名のお子さんが放課後を過ごす場所を選ぶときに、どのような点を重視しますか。(○は3つまで)

「安全性」の割合が 78.3%と最も高く、次いで「自宅や学校からの近さ」の割合が 63.1%、「利用料金」の割合が 24.2%となっています。

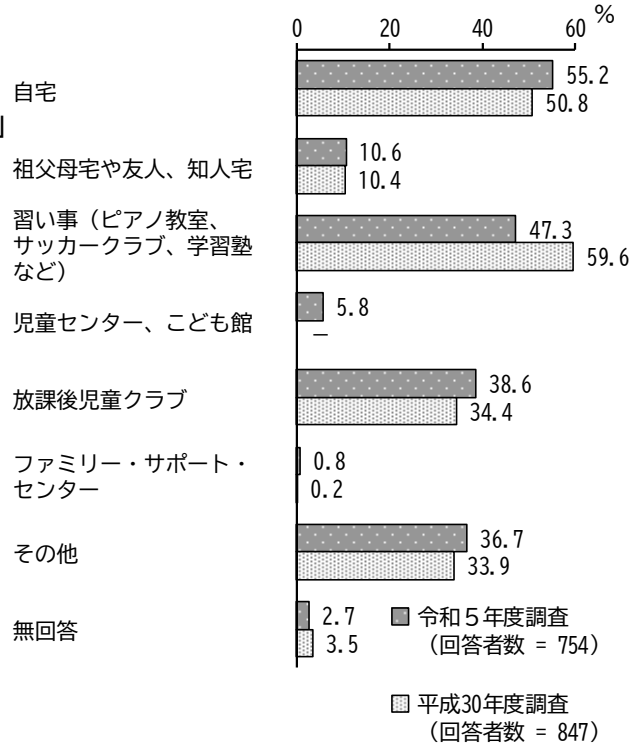


【あて名のお子さんが1～3年生の方におうかがいします】

問 25 あて名のお子さんについて、小学校低学年（1～3年生）の時は、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいですか。あてはまるものを選択し、それぞれ希望する週（月）あたり日数をご記入ください。また、「5. 放課後児童クラブ」を選択した場合には、利用したい時間も 内にご記入ください。

「自宅」の割合が 55.2%と最も高く、次いで「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」の割合が 47.3%、「放課後児童クラブ」の割合が 38.6%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」の割合が減少しています。



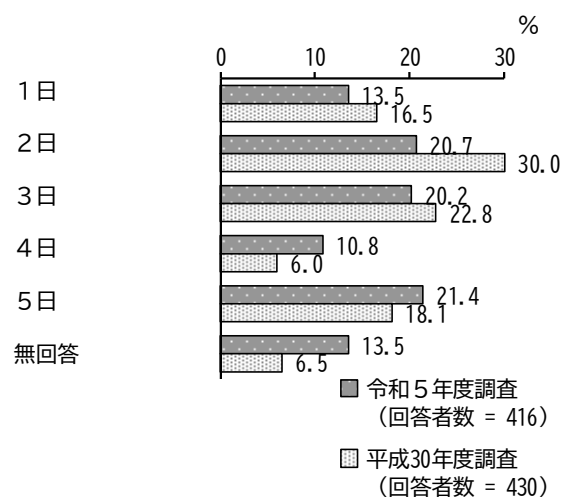
※前回調査では、「児童センター、こども館」の選択肢はありませんでした。

希望する週あたり利用日数

1. 自宅

「5日」の割合が 21.4%と最も高く、次いで「2日」の割合が 20.7%、「3日」の割合が 20.2%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「2日」の割合が減少しています。

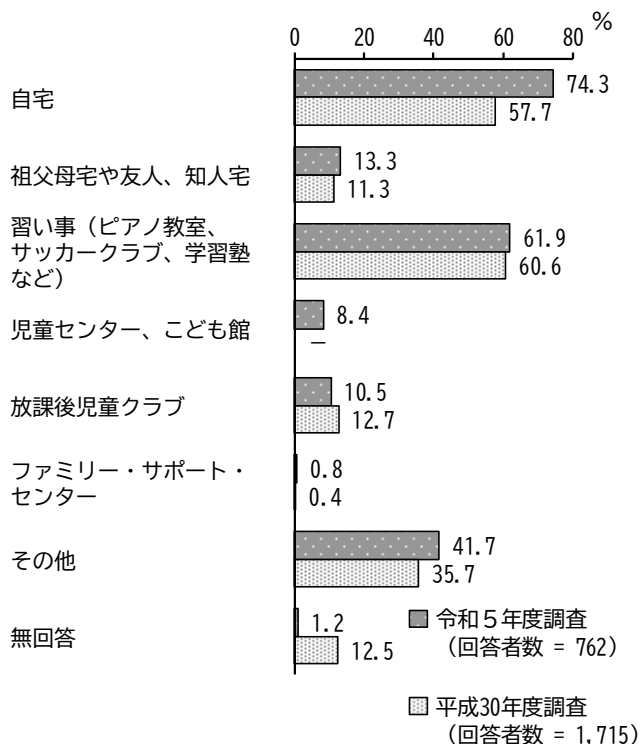


【すべての方におうかがいします】

問 26 あて名のお子さんについて、小学校高学年（4～6年生）の時は、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいですか。あてはまるもの全てを選択し、それぞれ希望する週（月）あたり日数をご記入ください。また、「5. 放課後児童クラブ」を選択した場合には、利用したい時間も 内にご記入ください。

「自宅」の割合が 74.3%と最も高く、次いで「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」の割合が 61.9%、「祖父母宅や友人、知人宅」の割合が 13.3%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「自宅」の割合が増加しています。

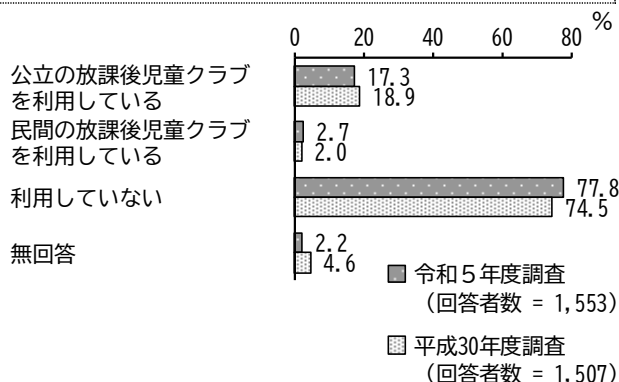


※前回調査では、「児童センター、こども館」の選択肢はありませんでした。

問 28 あて名のお子さんは、現在、放課後児童クラブを利用していますか。（○は1つ）

「利用していない」の割合が 77.8%と最も高く、次いで「公立の放課後児童クラブを利用している」の割合が 17.3%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

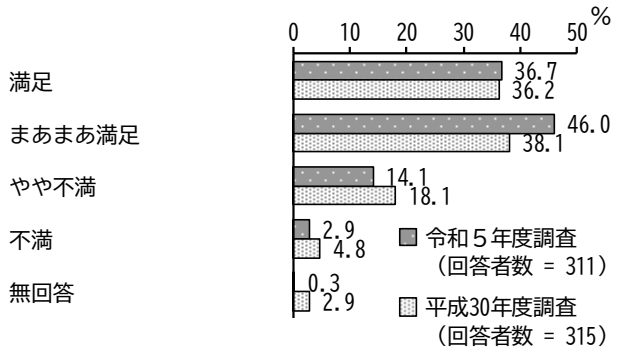


【問 28 で「1」または「2」（利用している）に○を付けた方】

問 28-2 利用した満足度はいかがですか。（○は1つ）

「まあまあ満足」の割合が 46.0%と最も高く、次いで「満足」の割合が 36.7%、「やや不満」の割合が 14.1%となっています。

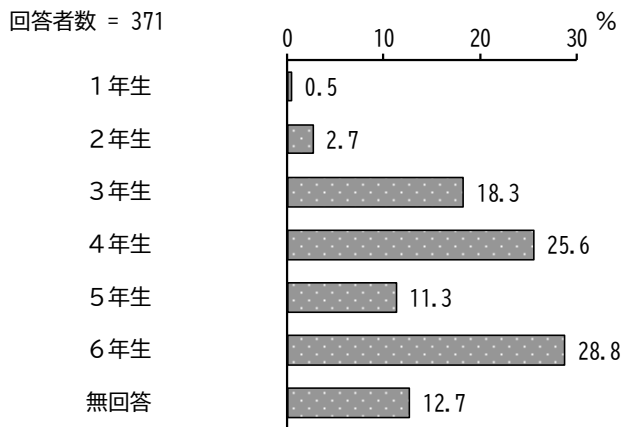
平成 30 年度調査と比較すると、「まあまあ満足」の割合が増加しています。



【問 25 または問 26 で「5. 放課後児童クラブ」に○を付けた方】

問 29 あて名のお子さんについて、放課後児童クラブを何年生まで利用したいですか。

「6年生」の割合が 28.8%と最も高く、次いで「4年生」の割合が 25.6%、「3年生」の割合が 18.3%となっています。

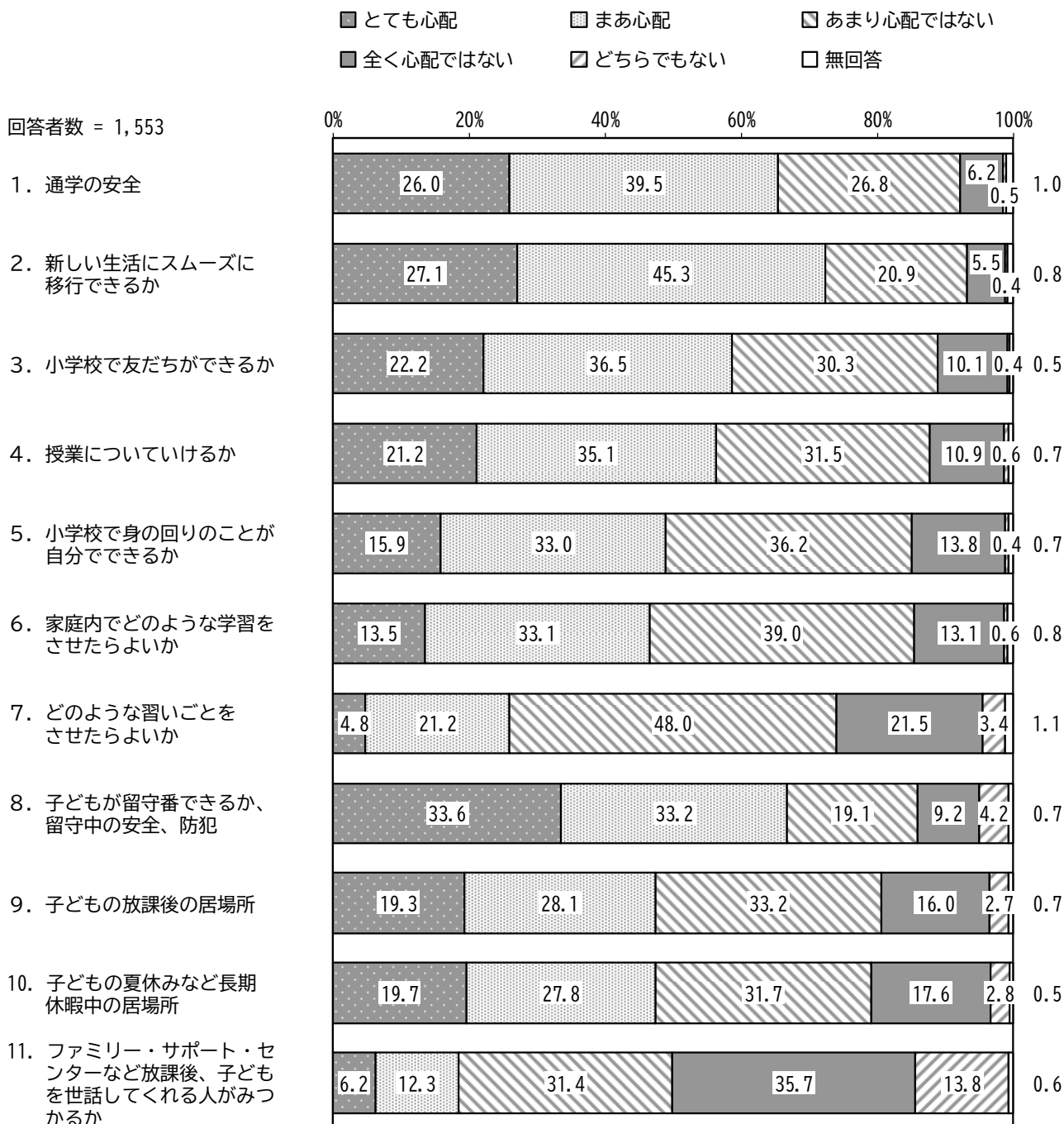


(7) 学校生活について

【すべての方におうかがいします】

問 32 あて名のお子さんが小学校に入学した時に心配だったことについて、その程度をお答えください。(それぞれ○は1つ)

『8. 子どもが留守番できるか、留守中の安全、防犯』で「とても心配」の割合が高くなっています。一方、『11. ファミリー・サポート・センターなど放課後、子どもを世話してくれる人がみつかるか』で「全く心配ではない」の割合が高くなっています。



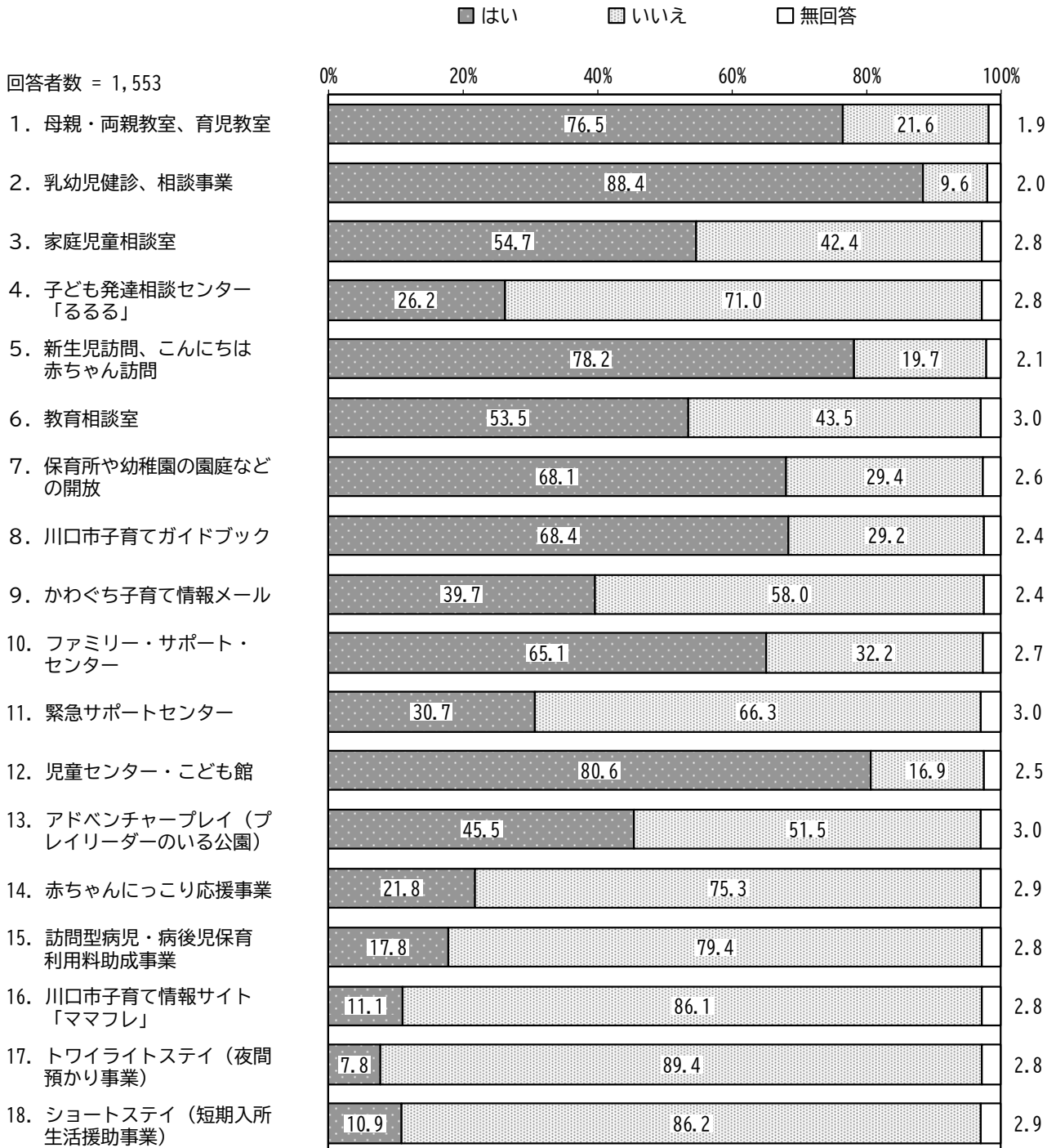
(8) 川口市の子育て支援について

※問 34 以降の設問は、あて名のお子さん以外も含めてお答えください。

問 34 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。(それぞれ、A～Cの項目ごとに○は1つ)

A 認知度

『2. 乳幼児健診、相談事業』で「はい」の割合が高くなっています。一方、『17. トワイライトステイ（夜間預かり事業）』で「いいえ」の割合が高くなっています。

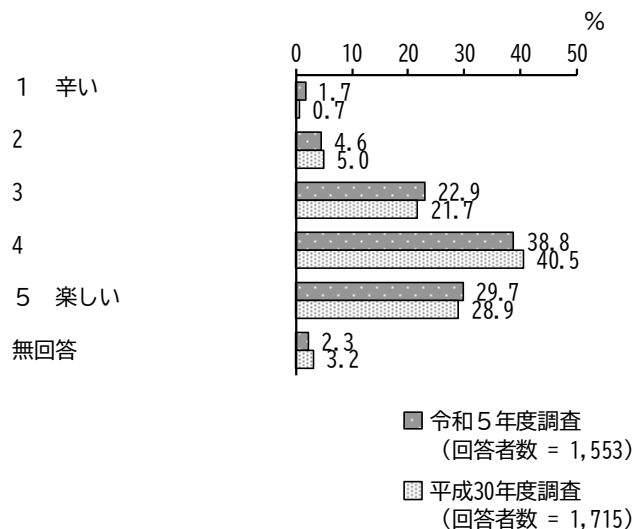


【すべての方におうかがいします】

問 36 あなたは、子育てが楽しいですか。それとも辛いですか。
(あてはまる番号に○を1つ)

「4」の割合が 38.8%と最も高く、次いで
「5 楽しい」の割合が 29.7%、「3」の割合が
22.9%となっています。

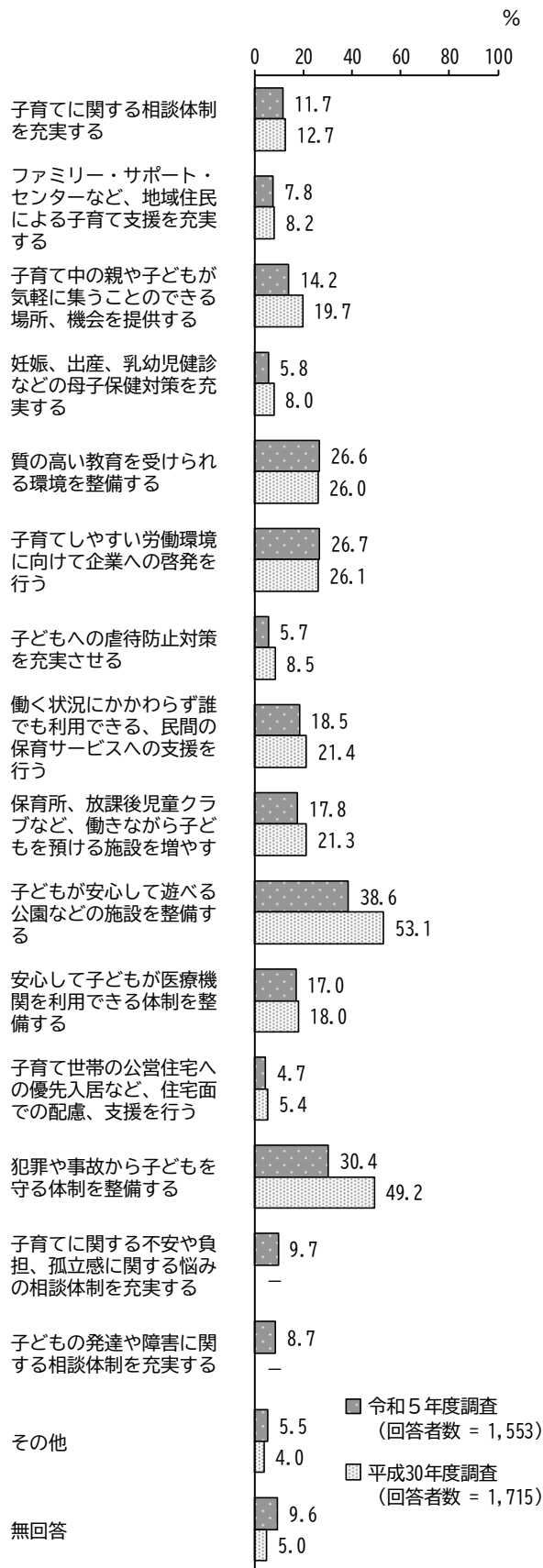
平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化は
みられません。



問 37 子育てをする中で、どのような支援、対策が有効だと思いますか。
(〇は3つまで)

「子どもが安心して遊べる公園などの施設を整備する」の割合が 38.6%と最も高く、次いで「犯罪や事故から子どもを守る体制を整備する」の割合が 30.4%、「子育てしやすい労働環境に向けて企業への啓発を行う」の割合が 26.7%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「子育て中の親や子どもが気軽に集うことのできる場所、機会を提供する」「子どもが安心して遊べる公園などの施設を整備する」「犯罪や事故から子どもを守る体制を整備する」の割合が減少しています。

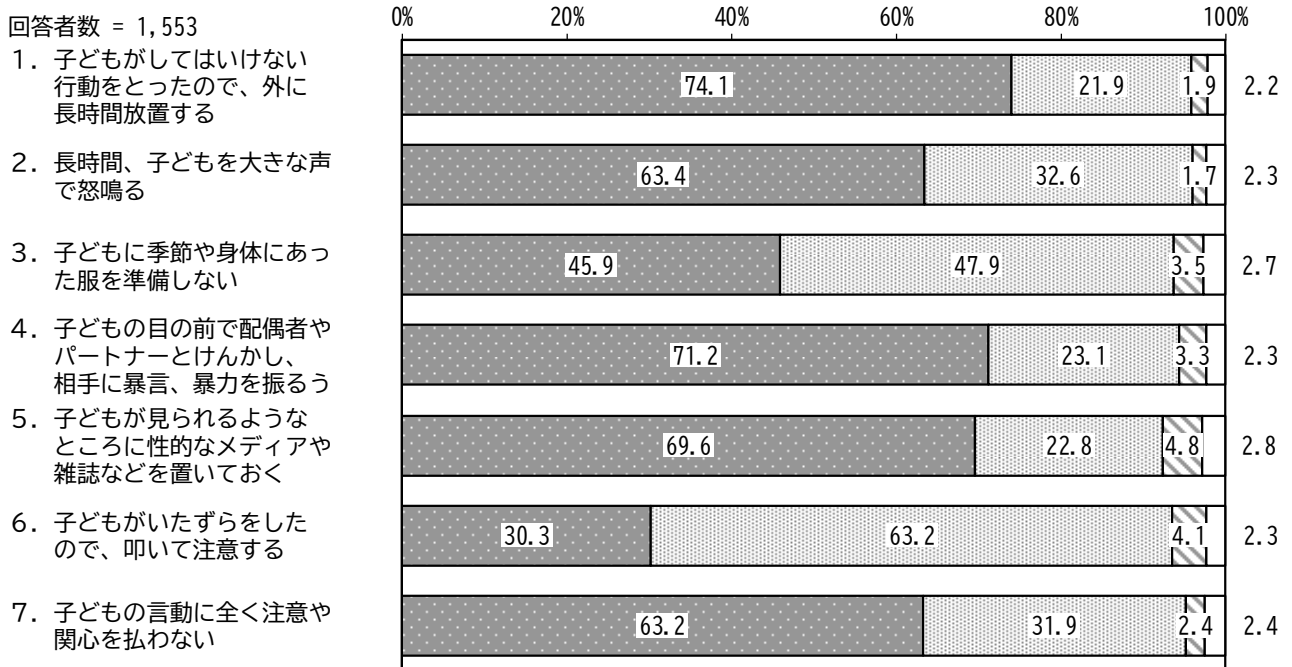


※前回調査では、「子育てに関する不安や負担、孤立感に関する悩みの相談体制を充実する」「子どもの発達や障害に関する相談体制を充実する」の選択肢はありませんでした。

問 38 下記の行動は、「児童虐待」にあたると思いますか。(それぞれ○は1つ)

『1. 子どもがしてはいけない行動をとったので、外に長時間放置する』で「どんな場合も児童虐待にあたる」の割合が、『6. 子どもがいたずらをしたので、叩いて注意する』で「児童虐待の場合とそうでない場合がある」の割合が高くなっています。

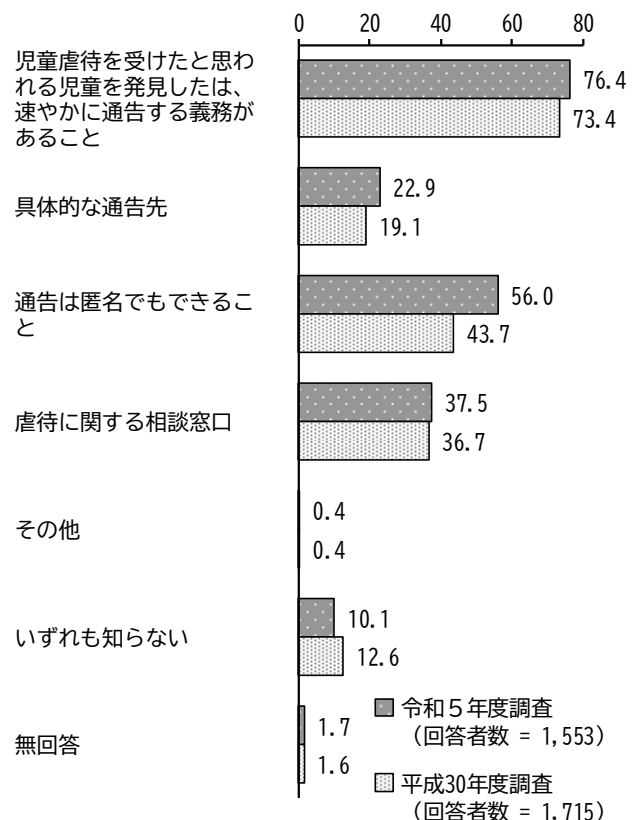
- どんな場合も児童虐待にあたる
- ▨ 児童虐待の場合とそうでない場合がある
- ▩ 児童虐待にはあたらない
- 無回答



問 39 あなたが、児童虐待について知っていることは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

「児童虐待を受けたと思われる児童を発見した人は、速やかに通告する義務があること」の割合が 76.4%と最も高く、次いで「通告は匿名でもできること」の割合が 56.0%、「虐待に関する相談窓口」の割合が 37.5%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「通告は匿名でもできること」の割合が増加しています。

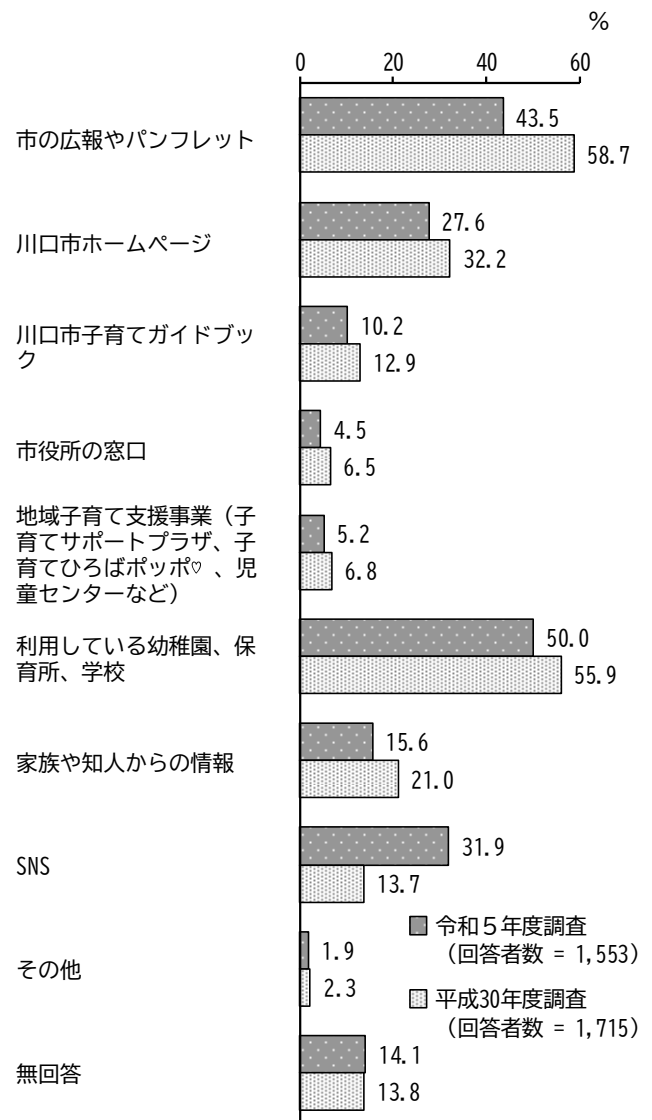


問 40 あなたは、市の子どもに関する施策などの情報をどのような方法で受け取っていますか。また、今後どのような方法で受け取りたいですか。
(あてはまるものすべてに○)

B 今後、受け取りたい方法

「利用している幼稚園、保育所、学校」の割合が 50.0%と最も高く、次いで「市の広報やパンフレット」の割合が 43.5%、「SNS」の割合が 31.9%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「SNS」の割合が増加しています。一方、「市の広報やパンフレット」「利用している幼稚園、保育所、学校」「家族や知人からの情報」の割合が減少しています。



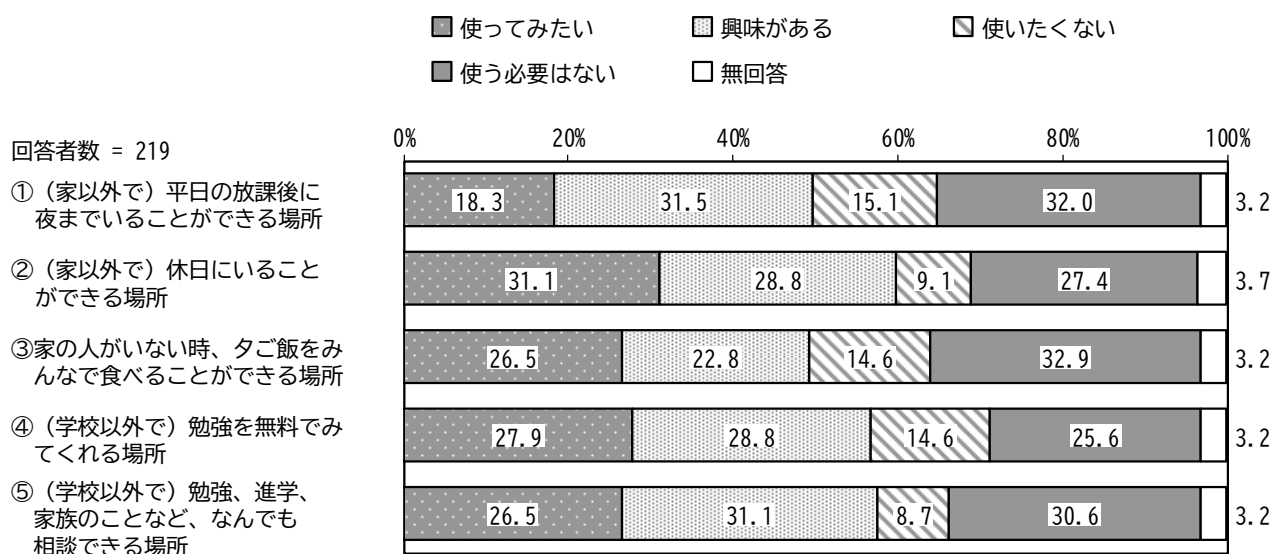
子どもの生活実態調査

3 小学5年生本人

(1) 学校以外でのふだんの生活の状況について

問2 あなたは、以下のような場所があれば使ってみたいと思いますか。それぞれについて、○をひとつつけてください。

『②（家以外で）休日にいることができる場所』で「使ってみたい」の割合が高くなっています。

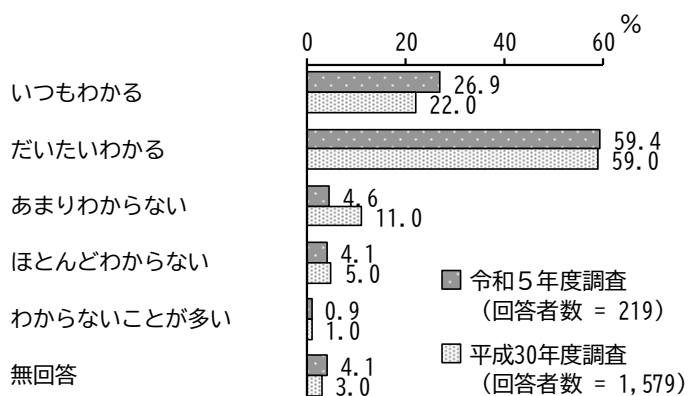


(2) 学校のことや勉強のことについて

問3 あなたは、学校の授業がわからないことがありますか。（○はひとつだけ）

「だいたいわかる」の割合が 59.4%と最も高く、次いで「いつもわかる」の割合が 26.9%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「あまりわからない」の割合が減少しています。

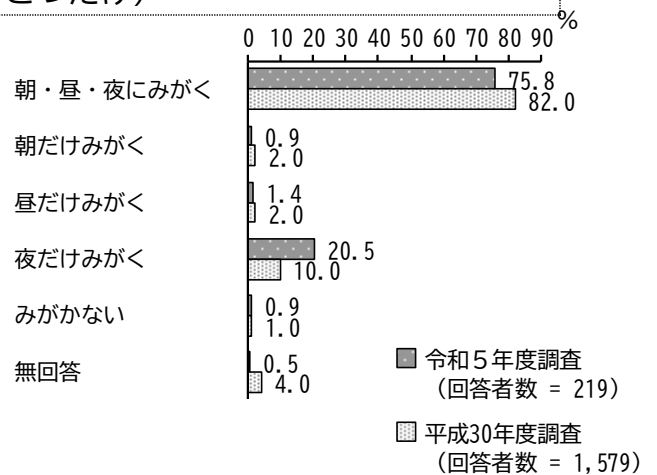


(3) あなたの健康状況について

問6 あなたはいつ歯みがきをしますか。(○はひとつだけ)

「朝・昼・夜にみがく」の割合が 75.8%と最も高く、次いで「夜だけみがく」の割合が 20.5%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「夜だけみがく」の割合が増加しています。一方、「朝・昼・夜にみがく」の割合が減少しています。



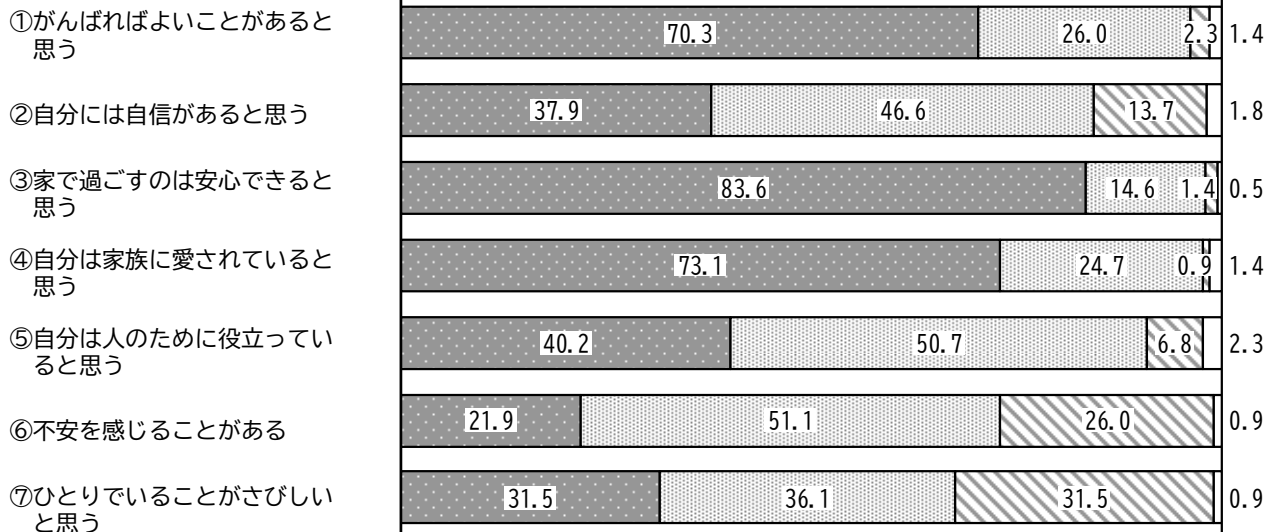
(4) あなたがふだん考えていることについて

問9 あなたは、以下の①から⑦のことについて、どのように思いますか。それぞれについて、○をひとつつけてください。

『⑦ひとりであることがさびしいと思う』で「思わない」の割合が高くなっています。

■ とても思う ▨ 少しは思う ▩ 思わない □ 無回答

回答者数 = 219



4 中学2年生本人

(1) 学校以外でのふだんの生活の状況について

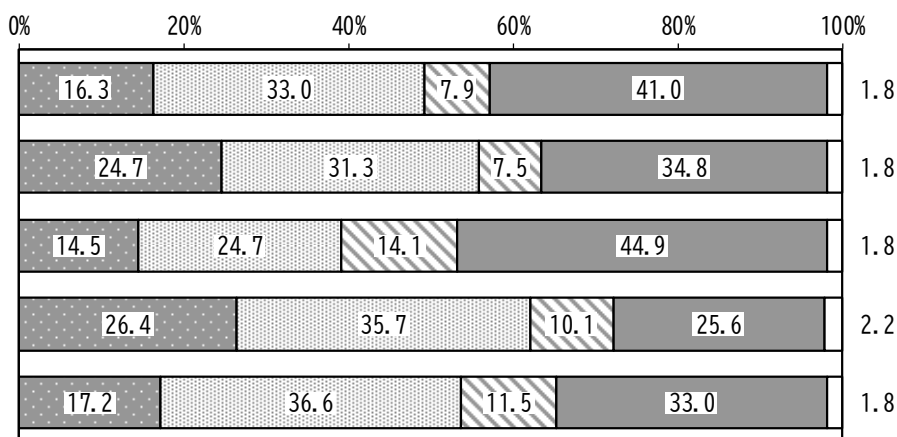
問2 あなたは、以下のような場所があれば使ってみたいと思いますか。それぞれについて、○をひとつつけてください。

『③家の人がない時、夕ご飯をみんなで食べることができる場所』で「使う必要はない」の割合が、『④（学校以外で）勉強を無料でみてくれる場所』で「使ってみたい」の割合が高くなっています。また、『⑤（学校以外で）勉強、進学、家族のことなど、なんでも相談できる場所』で「興味がある」の割合が高くなっています。

■ 使ってみたい □ 興味がある ▨ 使いたくない ■ 使う必要はない □ 無回答

回答者数 = 227

- ①（家以外で）平日の放課後に夜までいることができる場所
- ②（家以外で）休日にいることができる場所
- ③家の人がない時、夕ご飯をみんなで食べることができる場所
- ④（学校以外で）勉強を無料でみてくれる場所
- ⑤（学校以外で）勉強、進学、家族のことなど、なんでも相談できる場所

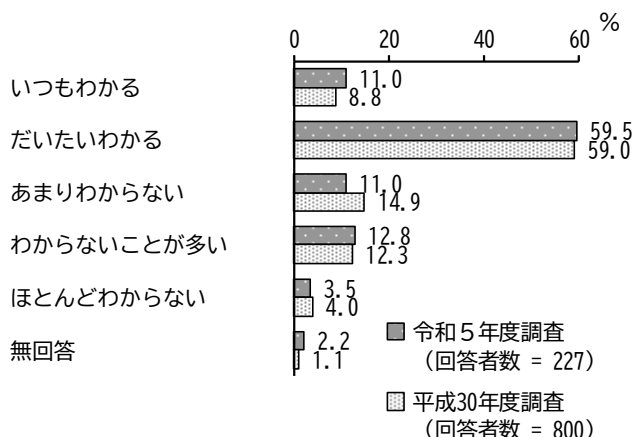


(2) 学校のことや勉強のことについて

問3 あなたは、学校の授業がわからないことがありますか。（○はひとつだけ）

「だいたいわかる」の割合が 59.5%と最も高く、次いで「わからないことが多い」の割合が 12.8%、「いつもわかる」、「あまりわからない」の割合が 11.0%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

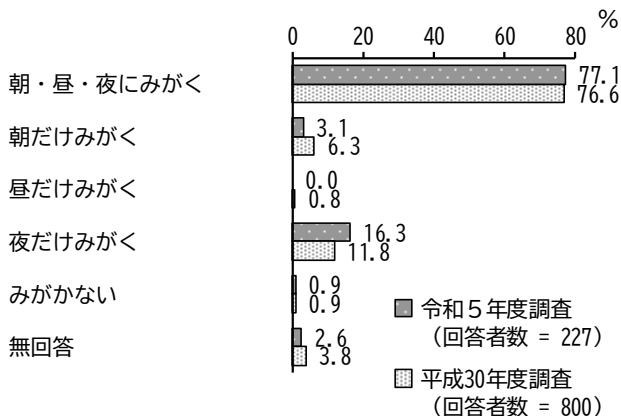


(3) あなたの健康状況について

問6 あなたはいつ歯みがきをしますか。(○はひとつだけ)

「朝・昼・夜にみがく」の割合が 77.1%と最も高く、次いで「夜だけみがく」の割合が 16.3%となっています。

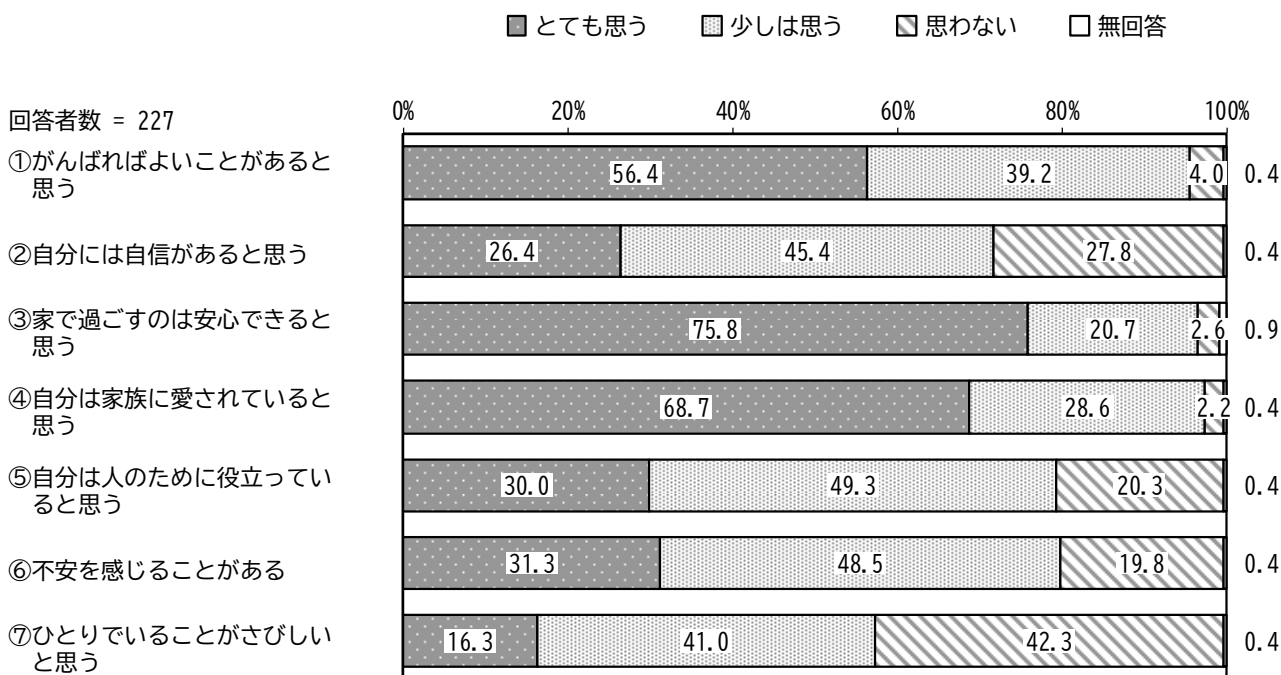
平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



(4) あなたがふだん考えていることについて

問9 あなたは、以下の①から⑦のことについて、どのように思いますか。それぞれについて、○をひとつつけてください。

『③家で過ごすのは安心できると思う』で「とても思う」の割合が、『⑤自分は人のために役立っていると思う』で「少しは思う」の割合が高くなっています。また、『⑦ひとりであることがさびしいと思う』で「思わない」の割合が高くなっています。



5 中学生保護者

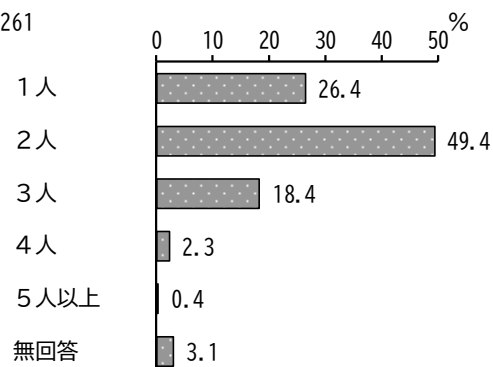
(1) 封筒のあて名のお子さんご家族の状況について

問3 あて名のお子さんのきょうだいは、何人いますか。2人以上のお子さんがある場合は、末子の方の生年月月をご記入ください。(内に数字でご記入ください。)

きょうだい数

「2人」の割合が49.4%と最も高く、次いで「1人」の割合が26.4%、「3人」の割合が18.4%となっています。

回答者数 = 261



問5 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。あて名のお子さんからみた関係でお答えください。(○は1つ)

「母親」の割合が83.5%、「父親」の割合が12.3%となっています。

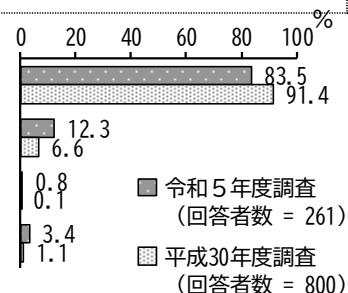
平成30年度調査と比較すると、「父親」の割合が増加しています。一方、「母親」の割合が減少しています。

母親

父親

その他

無回答



問6 この調査票にご回答いただいている方の配偶者、パートナーの有無についてお答えください。(○は1つ)

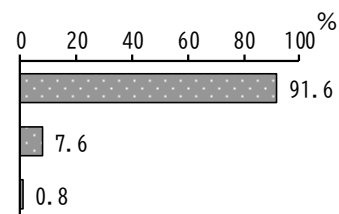
「配偶者（パートナー）がいる」の割合が91.6%、「配偶者（パートナー）はいない」の割合が7.6%となっています。

回答者数 = 250

配偶者（パートナー）がいる

配偶者（パートナー）はいない

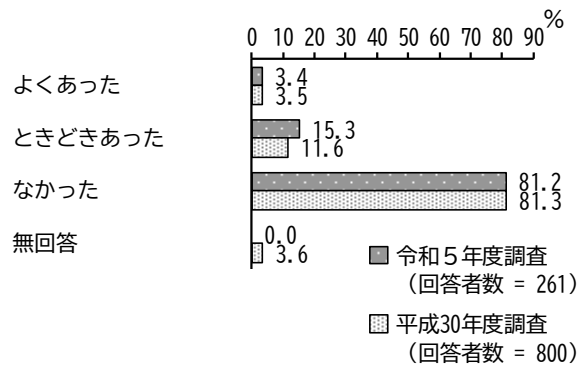
無回答



問11 あなたのご家庭では、過去1年間の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする食料または衣類が買えないことがありましたか。(○は1つ)

「なかった」の割合が81.2%と最も高く、次いで「ときどきあった」の割合が15.3%となっています。

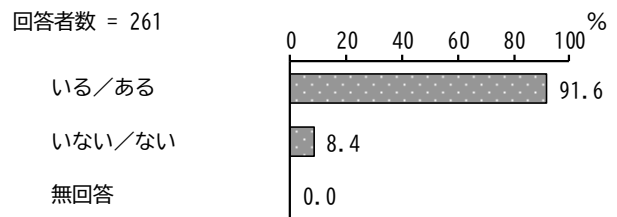
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



(2) 子どもの育ちをめぐる環境について

問14 あて名のお子さんの子育てをする上で、気軽に相談できる人や場所はありますか。(○は1つ)

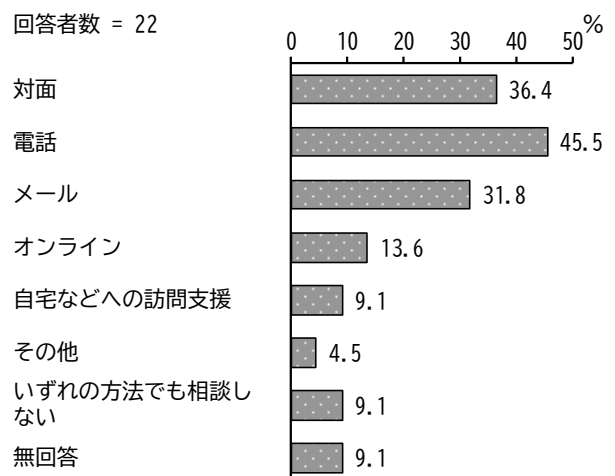
「いる／ある」の割合が91.6%、「いない／ない」の割合が8.4%となっています。



【問14で「2. いない／ない」に○を付けた方】

問15 今後、あて名のお子さんの子育てに関して困りごとが出てきた場合、どのような形で相談したいですか。(あてはまるものすべてに○)

「電話」の割合が45.5%と最も高く、次いで「対面」の割合が36.4%、「メール」の割合が31.8%となっています。

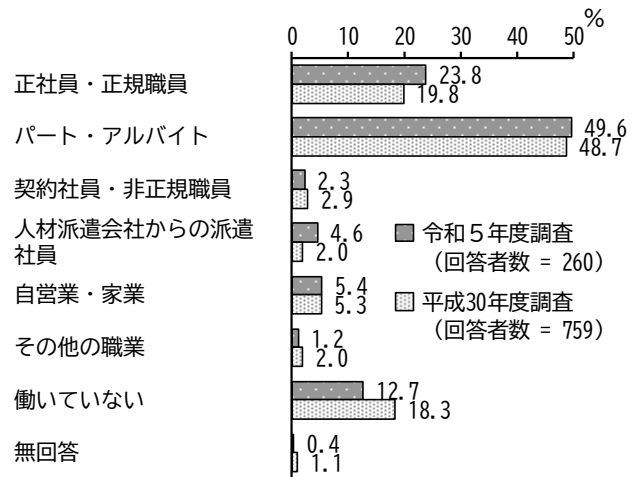


(3) あて名のお子さんの保護者の働く状況について

問 17 お子さんのお母さんの現在の職業の雇用形態は、どれになりますか。
(○は1つ)

「パート・アルバイト」の割合が 49.6%と最も高く、次いで「正社員・正規職員」の割合が 23.8%、「働いていない」の割合が 12.7%となっています。

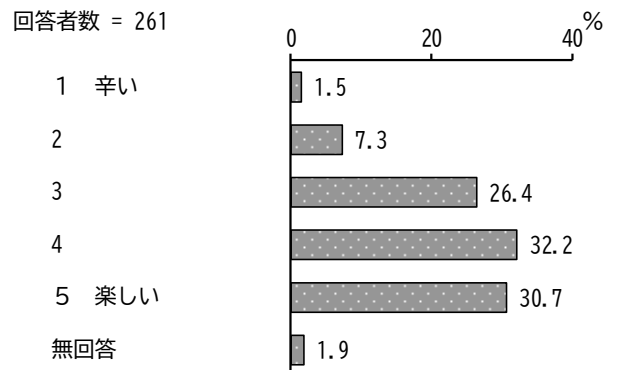
平成 30 年度調査と比較すると、「働いていない」の割合が減少しています。



(4) 子育て支援について

問 20 あなたは、子育てが楽しいですか。それとも辛いですか。
(あてはまる番号に○を1つ)

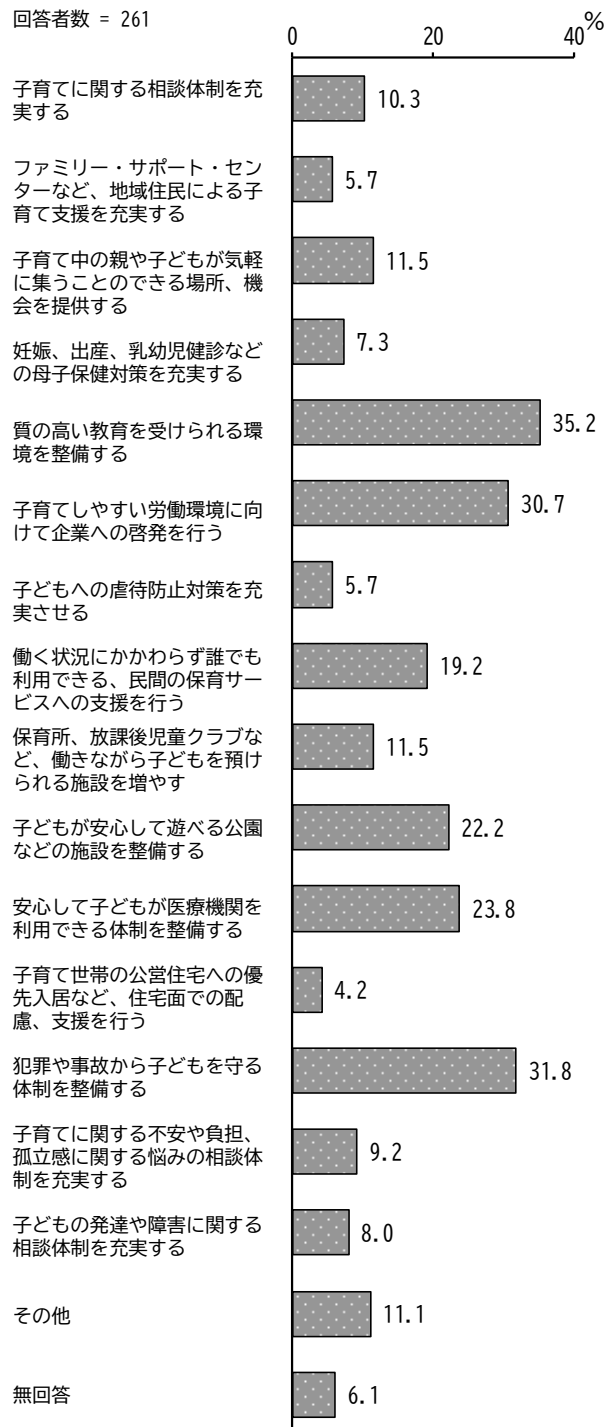
「4」の割合が 32.2%と最も高く、次いで「5 楽しい」の割合が 30.7%、「3」の割合が 26.4%となっています。



問 21 子育てをする中で、どのような支援、対策が有効だと思いますか。
(〇は3つまで)

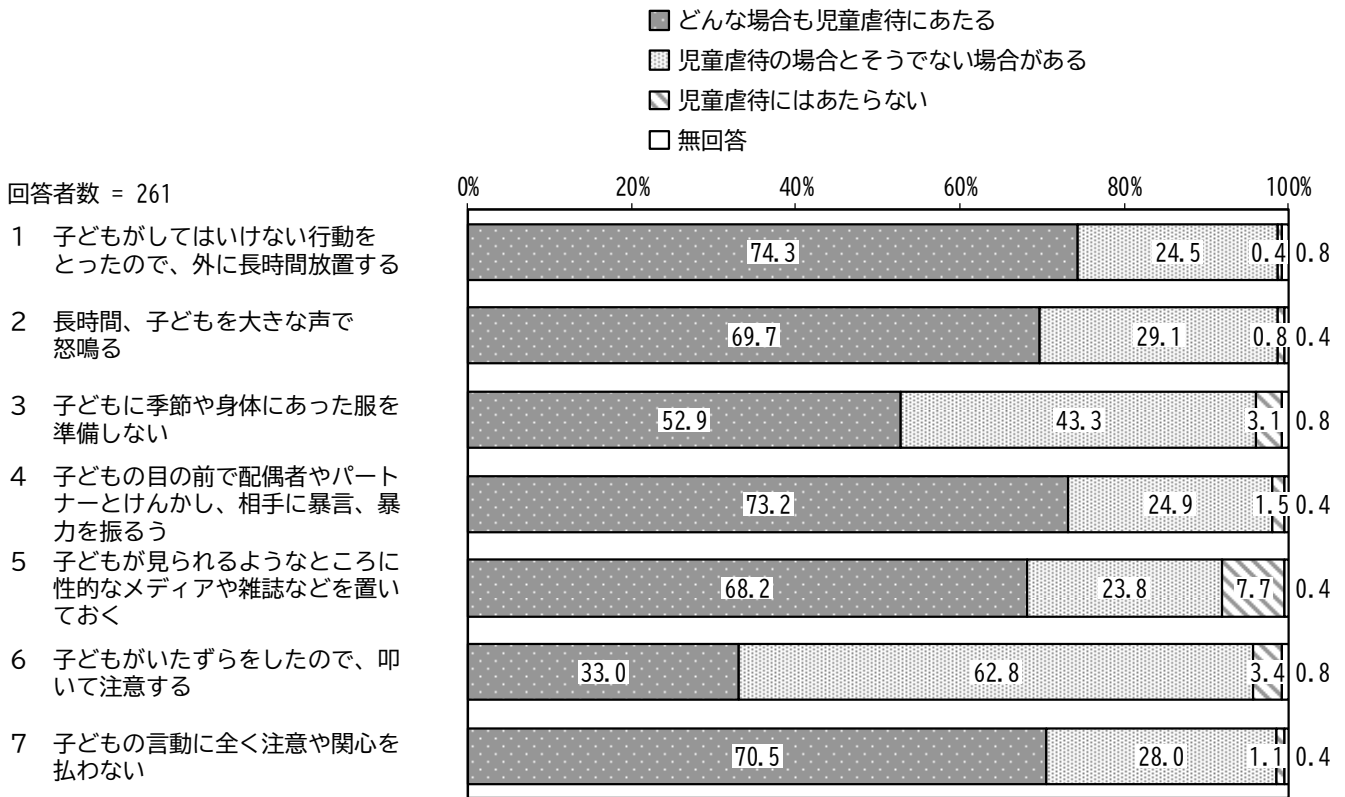
「質の高い教育を受けられる環境を整備する」の割合が 35.2%と最も高く、次いで「犯罪や事故から子どもを守る体制を整備する」の割合が 31.8%、「子育てしやすい労働環境に向けて企業への啓発を行う」の割合が 30.7%となっています。

回答者数 = 261



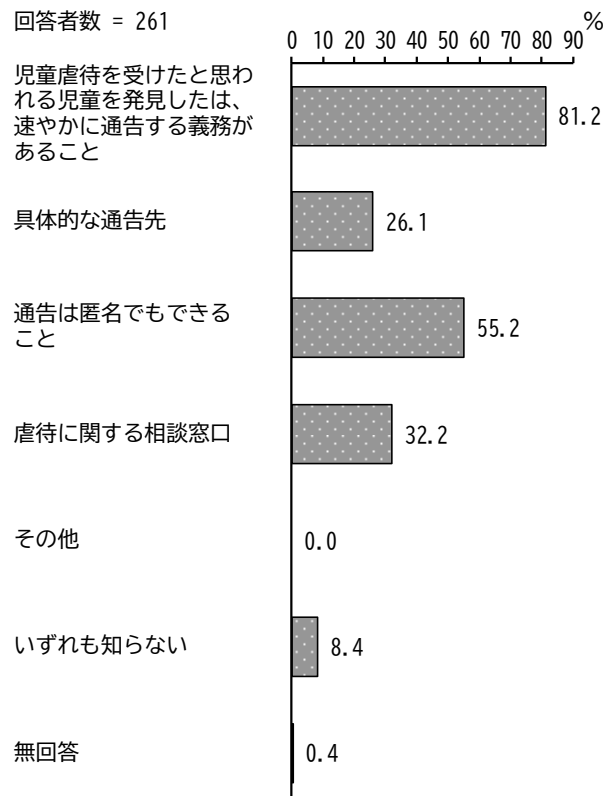
問 22 下記の行動は、「児童虐待」にあたると思いますか。(それぞれ○は1つ)

『6. 子どもがいたずらをしたので、叩いて注意する』で「児童虐待の場合とそうでない場合がある」の割合が高くなっています。



問 23 あなたが、児童虐待について知っていることは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

「児童虐待を受けたと思われる児童を発見した人は、速やかに通告する義務があること」の割合が 81.2%と最も高く、次いで「通告は匿名でもできること」の割合が 55.2%、「虐待に関する相談窓口」の割合が 32.2%となっています。

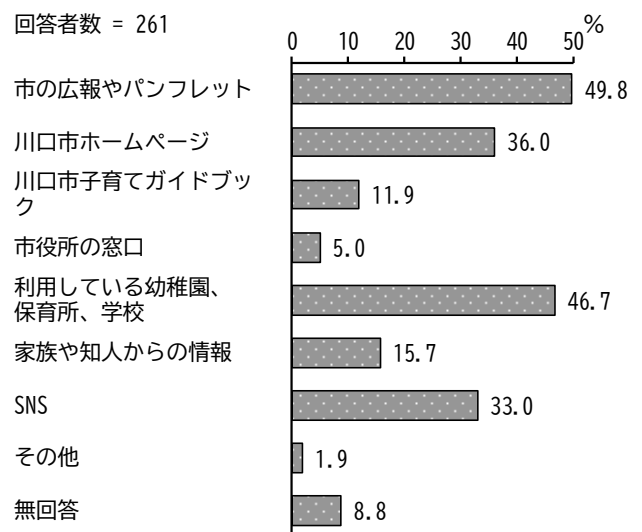


問 24 あなたは、市の子どもに関する施策などの情報をどのような方法で受け取っていますか。また、今後どのような方法で受け取りたいですか。
(あてはまるものすべてに○)

B 今後、受け取りたい方法

「市の広報やパンフレット」の割合が 49.8%と最も高く、次いで「利用している幼稚園、保育所、学校」の割合が 46.7%、「川口市ホームページ」の割合が 36.0%となっています。

回答者数 = 261



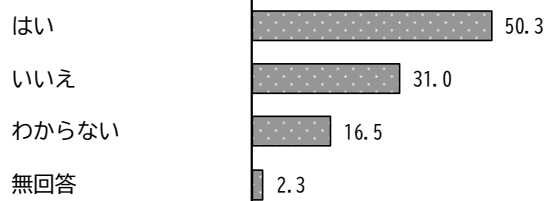
子ども・若者意識調査

6 小学生

問6 あなたは、家や学校以外に「ここに居たい」と感じる居場所がほしいですか。
(○は1つだけ)

「はい」の割合が50.3%と最も高く、次いで「いいえ」の割合が31.0%、「わからない」の割合が16.5%となっています。

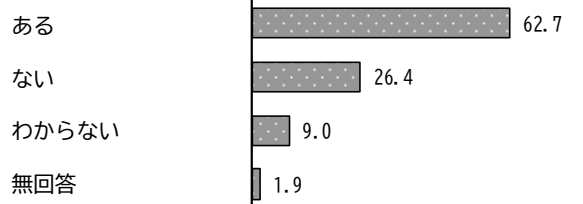
回答者数 = 3,543



問8 あなたは、ふだんの生活の中でイライラすること、「いやだなあ」と不満に思うこと、「どうしよう?」と不安になることはありますか。(○は1つだけ)

「ある」の割合が62.7%と最も高く、次いで「ない」の割合が26.4%となっています。

回答者数 = 3,543

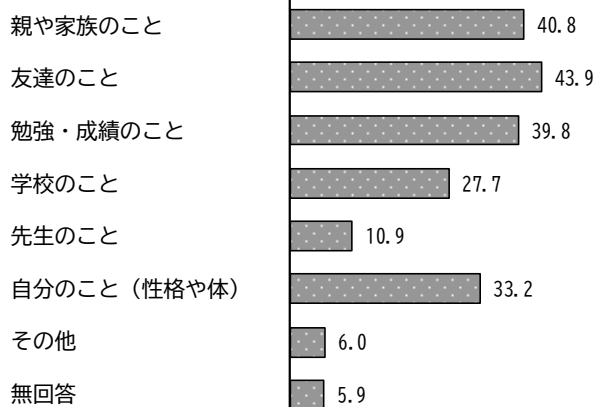


問8で「1. ある」と答えた方のみ、問9～問10の質問に回答してください。

問9 それは、どんな理由によるものですか。(○はいくつでも)

「友達のこと」の割合が43.9%と最も高く、次いで「親や家族のこと」の割合が40.8%、「勉強・成績のこと」の割合が39.8%となっています。

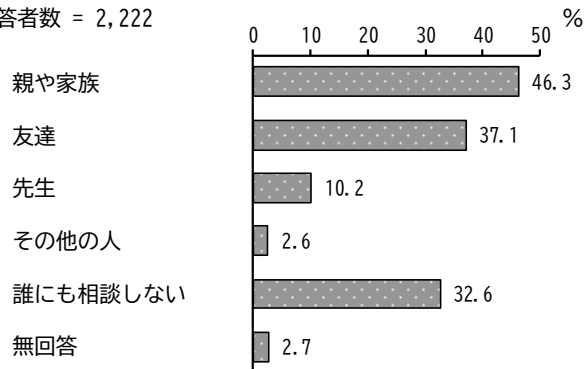
回答者数 = 2,222



問10 そんなときは、誰に相談しますか。(〇はいくつでも)

「親や家族」の割合が46.3%と最も高く、次いで「友達」の割合が37.1%、「誰にも相談しない」の割合が32.6%となっています。

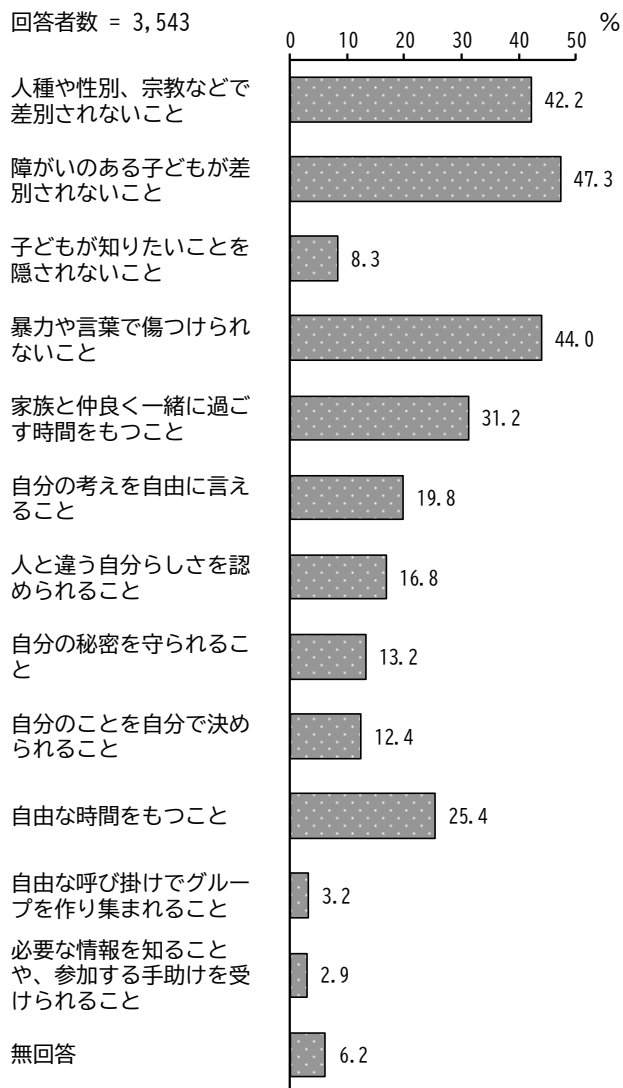
回答者数 = 2,222



問21 子どもの権利の中で特に大切だと思うことはどれですか。(〇は3つまで)

「障がいのある子どもが差別されないこと」の割合が47.3%と最も高く、次いで「暴力や言葉で傷つけられないこと」の割合が44.0%、「人種や性別、宗教などで差別されないこと」の割合が42.2%となっています。

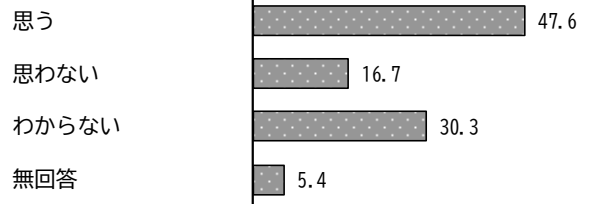
回答者数 = 3,543



問 23 あなたは、将来結婚したいと思いますか。(○は1つだけ)

「思う」の割合が 47.6%と最も高く、次いで「わからない」の割合が 30.3%、「思わない」の割合が 16.7%となっています。

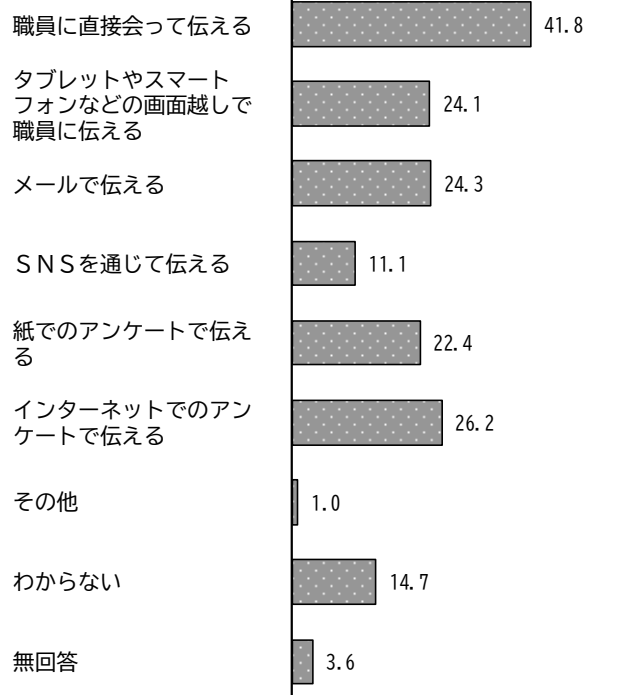
回答者数 = 3,543



問 25 あなたが市役所に自分の考えを伝えるとしたら、どのような方法が良いと思いますか。(○はいくつでも)

「職員に直接会って伝える」の割合が 41.8%と最も高く、次いで「インターネットでのアンケートで伝える」の割合が 26.2%、「メールで伝える」の割合が 24.3%となっています。

回答者数 = 3,543



7 中学生

問6 あなたは、家や学校以外に「ここに居たい」と感じる居場所がほしいですか。
(○は1つだけ)

「はい」の割合が49.1%と最も高く、次いで「いいえ」の割合が28.6%、「わからない」の割合が19.7%となっています。

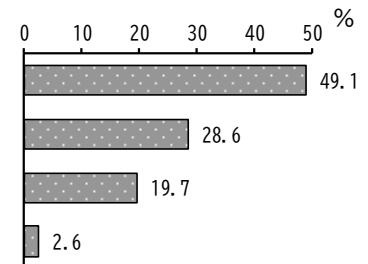
回答者数 = 2,866

はい

いいえ

わからない

無回答



問8 あなたは、ふだんの生活の中でイライラすること、「いやだなあ」と不満に思うこと、「どうしよう?」と不安になることはありますか。(○は1つだけ)

「ある」の割合が70.7%と最も高く、次いで「ない」の割合が18.8%となっています。

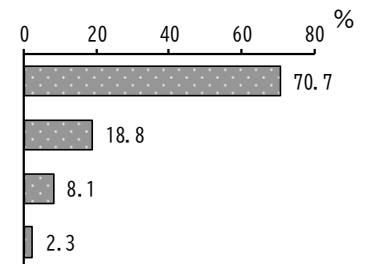
回答者数 = 2,866

ある

ない

わからない

無回答



問8で「1. ある」と答えた方のみ、問9～問10の質問に回答してください。

問9 それは、どんな理由によるものですか。(○はいくつでも)

「勉強・成績のこと」の割合が67.5%と最も高く、次いで「友達のこと」の割合が47.9%、「親や家族のこと」の割合が42.3%となっています。

回答者数 = 2,027

親や家族のこと

友達のこと

勉強・成績のこと

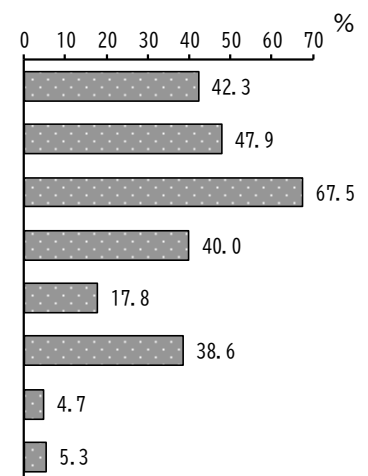
学校のこと

先生のこと

自分のこと(性格や体)

その他

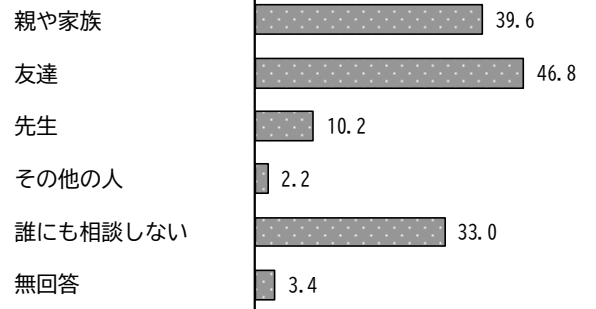
無回答



問 10 そんなときは、誰に相談しますか。(〇はいくつでも)

「友達」の割合が 46.8%と最も高く、次いで「親や家族」の割合が 39.6%、「誰にも相談しない」の割合が 33.0%となっています。

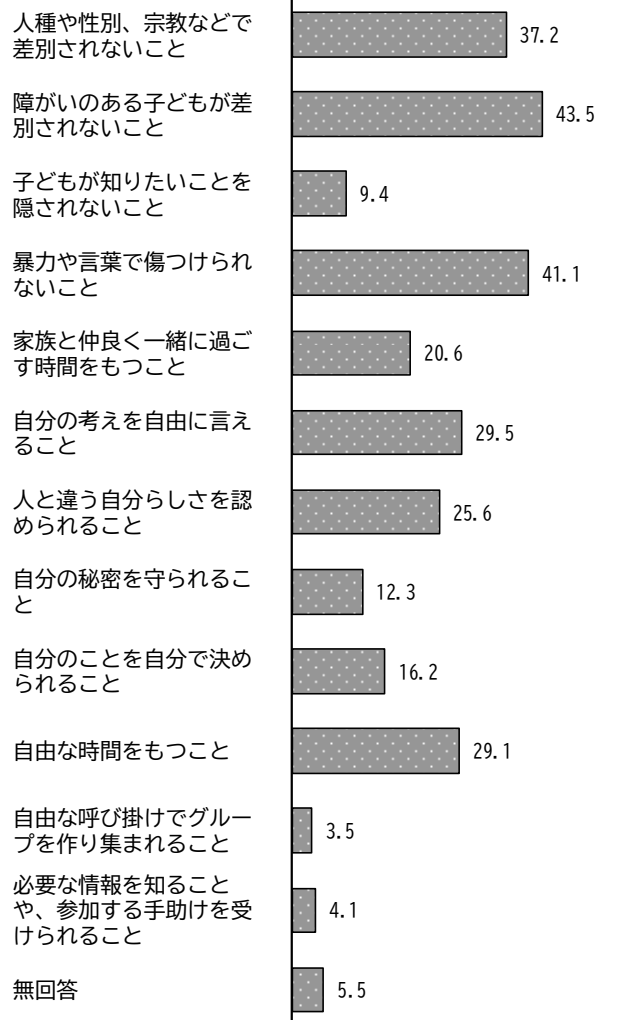
回答者数 = 2,027



問 21 子どもの権利の中で特に大切だと思うことはどれですか。(〇は3つまで)

「障がいのある子どもが差別されないこと」の割合が 43.5%と最も高く、次いで「暴力や言葉で傷つけられないこと」の割合が 41.1%、「人種や性別、宗教などで差別されないこと」の割合が 37.2%となっています。

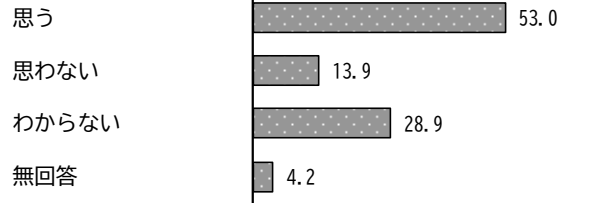
回答者数 = 2,866



問 23 あなたは、将来結婚したいと思いますか。(○は1つだけ)

「思う」の割合が 53.0%と最も高く、次いで「わからない」の割合が 28.9%、「思わない」の割合が 13.9%となっています。

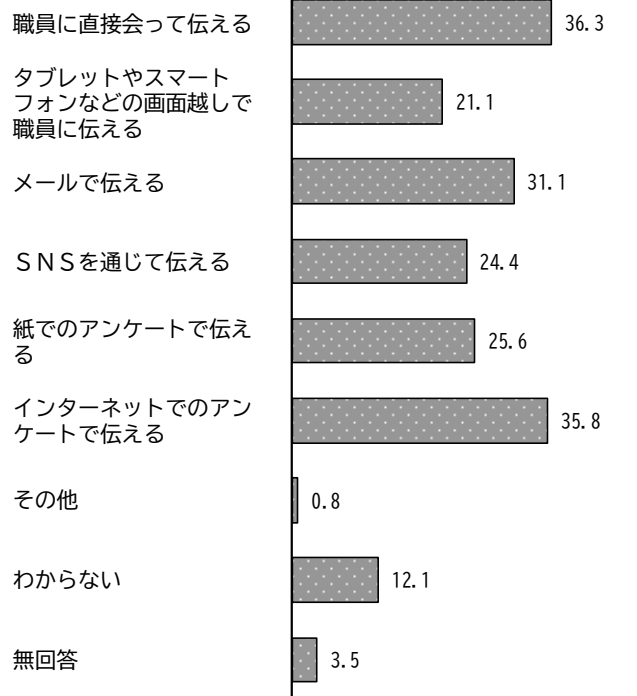
回答者数 = 2,866



問 25 あなたが市役所に自分の考えを伝えるとしたら、どのような方法が良いと思いますか。(○はいくつでも)

「職員に直接会って伝える」の割合が 36.3%と最も高く、次いで「インターネットでのアンケートで伝える」の割合が 35.8%、「メールで伝える」の割合が 31.1%となっています。

回答者数 = 2,866



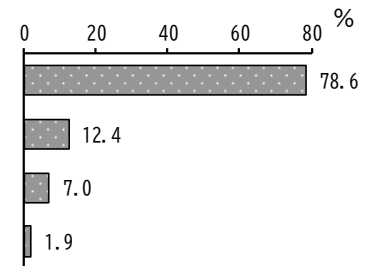
8 高校生

問6 あなたは、ふだんの生活の中でイライラすること、「いやだなあ」と不満に思うこと、「どうしよう?」と不安になることはありますか。(○は1つだけ)

「ある」の割合が 78.6%と最も高く、次いで「ない」の割合が 12.4%となっています。

回答者数 = 412

ある
ない
わからない
無回答



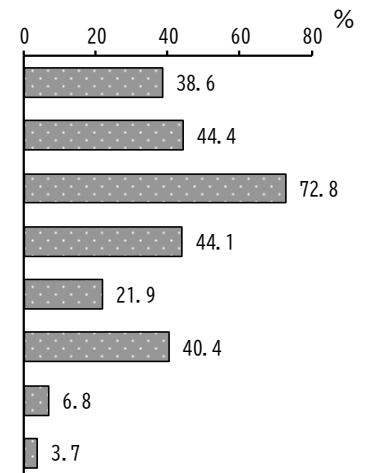
問6で「1. ある」と答えた方のみ、問7～問8の質問に回答してください。

問7 それは、どんな理由によるものですか。(○はいくつでも)

「勉強・成績のこと」の割合が 72.8%と最も高く、次いで「友達のこと」の割合が 44.4%、「学校のこと」の割合が 44.1%となっています。

回答者数 = 324

親や家族のこと
友達のこと
勉強・成績のこと
学校のこと
先生のこと
自分のこと(性格や体)
その他
無回答

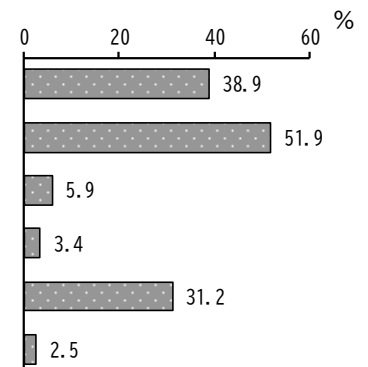


問8 そんなときは、誰に相談しますか。(○はいくつでも)

「友達」の割合が 51.9%と最も高く、次いで「親や家族」の割合が 38.9%、「誰にも相談しない」の割合が 31.2%となっています。

回答者数 = 324

親や家族
友達
先生
その他の人
誰にも相談しない
無回答



問19 子どもの権利の中で特に大切だと思うことはどれですか。(○は3つまで)

「暴力や言葉で傷つけられないこと」の割合が49.0%と最も高く、次いで「人種や性別、宗教などで差別されないこと」の割合が36.9%、「自分の考えを自由に言えること」の割合が36.7%となっています。

回答者数 = 412

人種や性別、宗教などで差別されないこと

障がいのある子どもが差別されないこと

子どもが知りたいことを隠されないこと

暴力や言葉で傷つけられないこと

家族と仲良く一緒に過ごす時間をもつこと

自分の考えを自由に言えること

人と違う自分らしさを認められること

自分の秘密を守られること

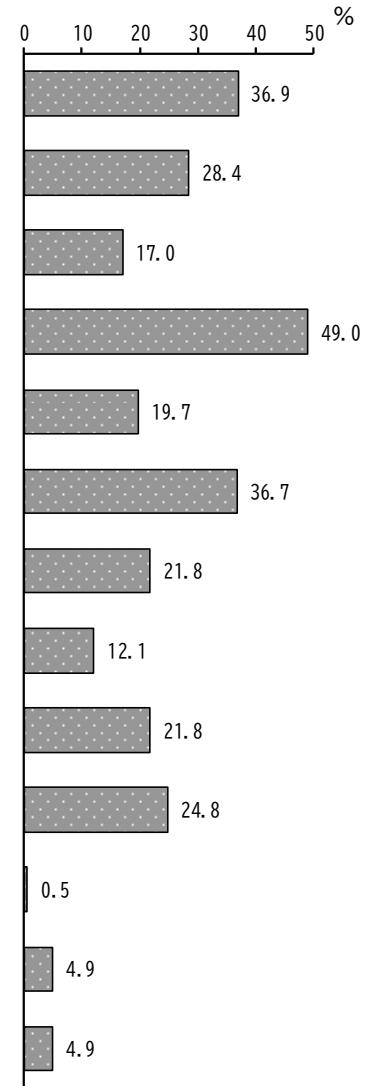
自分のことを自分で決められること

自由な時間をもつこと

自由な呼び掛けでグループを作り集まれること

必要な情報を知ることや、参加する手助けを受けられること

無回答



問21 あなたは、将来結婚したいと思いますか。(○は1つだけ)

「思う」の割合が66.3%と最も高く、次いで「わからない」の割合が17.7%、「思わない」の割合が14.1%となっています。

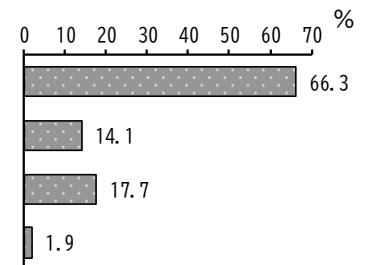
回答者数 = 412

思う

思わない

わからない

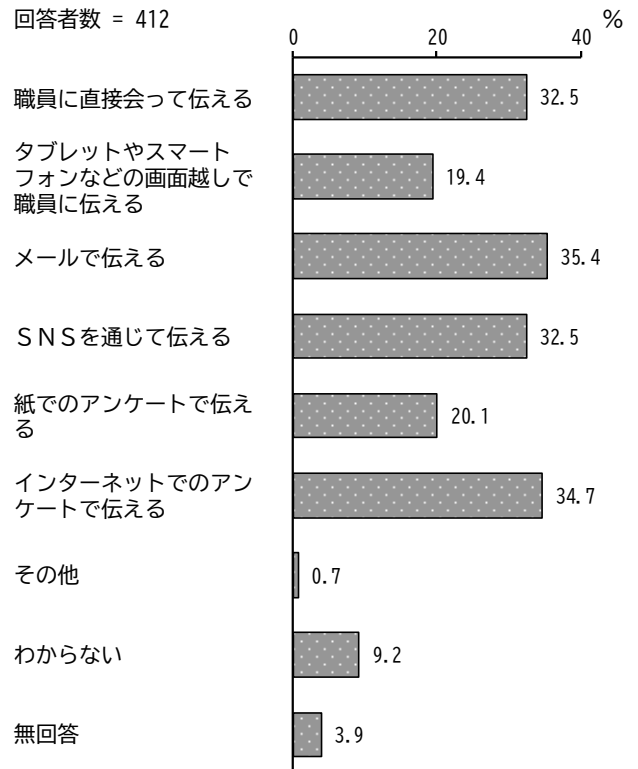
無回答



問 23 あなたが市役所に自分の考えを伝えるとしたら、どのような方法が良いと思いますか。(〇はいくつでも)

「メールで伝える」の割合が 35.4%と最も高く、次いで「インターネットでのアンケートで伝える」の割合が 34.7%、「職員に直接会って伝える」、「SNSを通じて伝える」の割合が 32.5%となっています。

回答者数 = 412



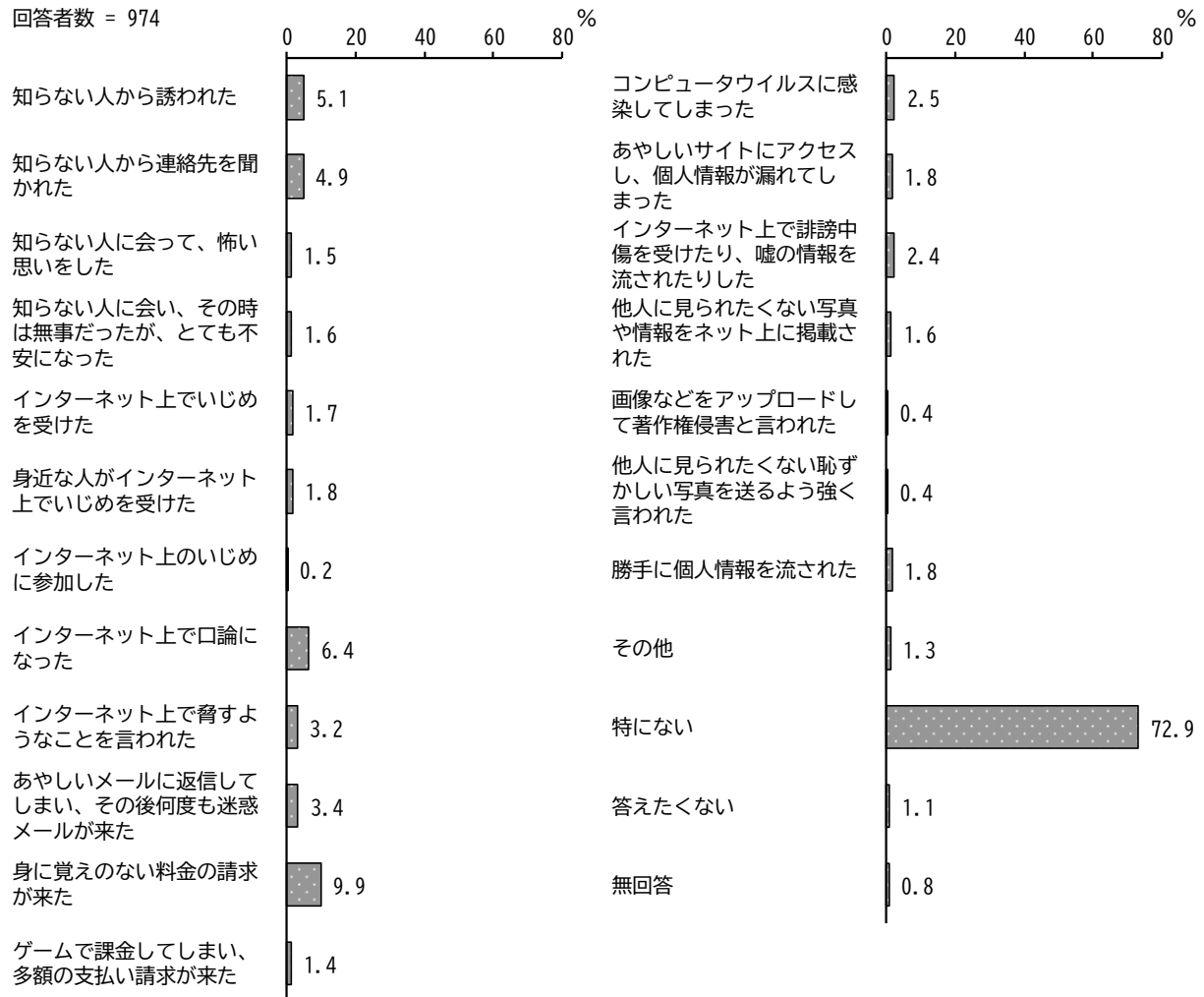
9 若者

(1) インターネット等について

問7 あなたは、次のようなインターネットを介したトラブルに巻き込まれたことはありますか。(〇はいくつでも)

「特にない」の割合が72.9%と最も高くなっています。

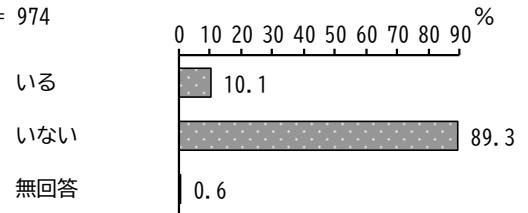
回答者数 = 974



(2) 子育てについて

問 14 あなたは、現在子どもがいますか。(○は1つ)

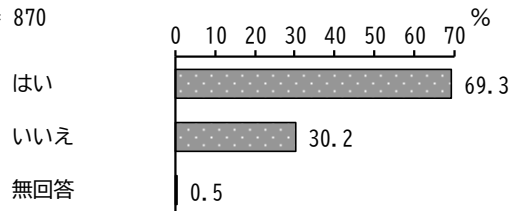
「いる」の割合が10.1%、「いない」の割合が 89.3%となっています。 回答者数 = 974



【問 14 で「2. いない」に○をした方にお伺いします。】

問 14-1 あなたは、いつかは子どもを持ちたいと思いますか。(○は1つ)

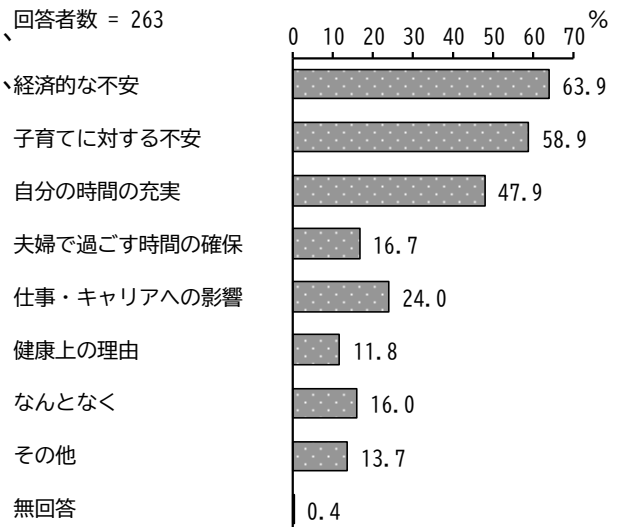
「はい」の割合が69.3%、「いいえ」の割合が 30.2%となっています。 回答者数 = 870



【問 14-1 で「2. いいえ」に○をした方にお伺いします。】

問 14-6 あなたが子どもを持ちたいと思わない理由を選んでください。(○はいくつでも)

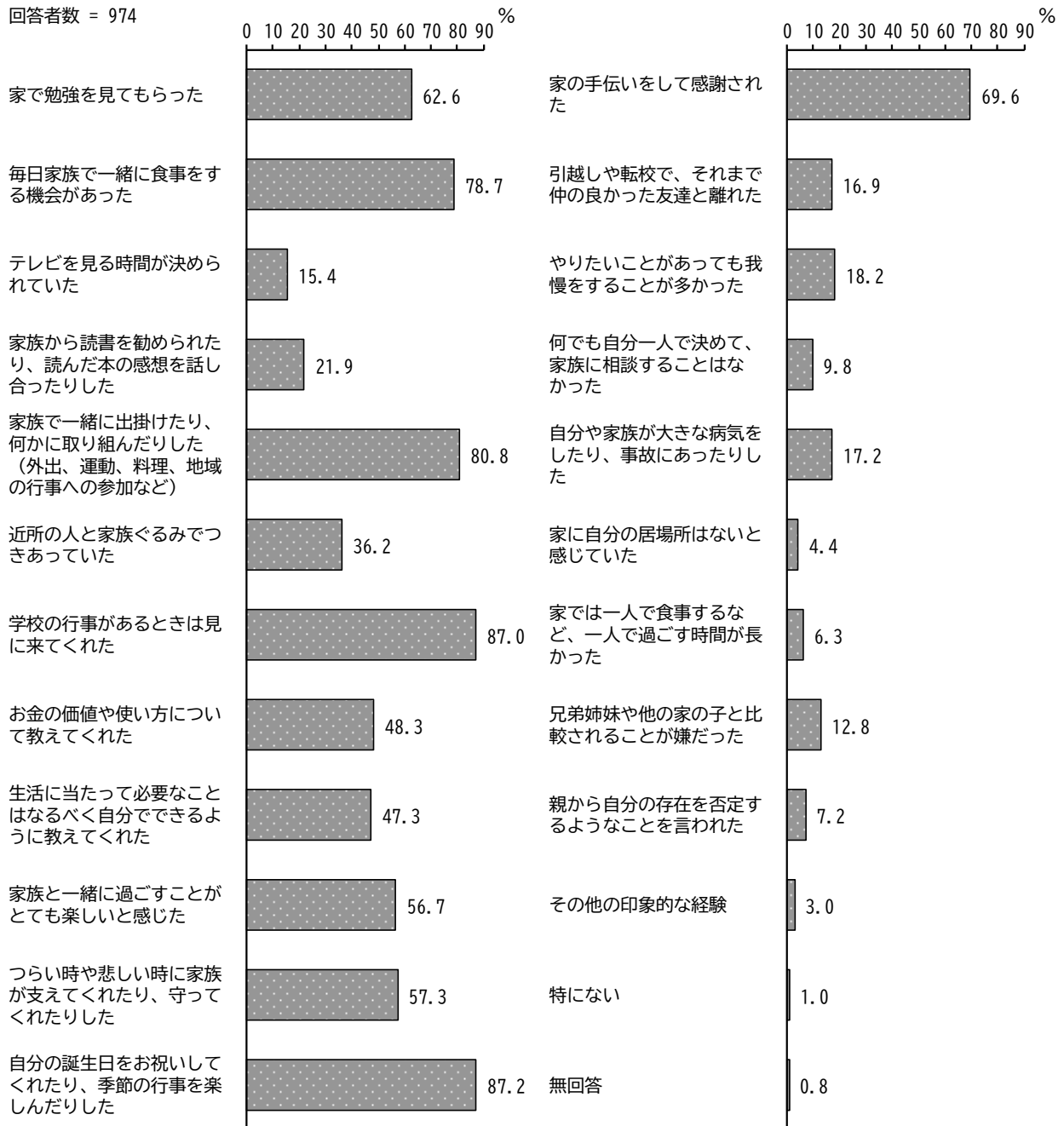
「経済的な不安」の割合が 63.9%と最も高く、次いで「子育てに対する不安」の割合が 58.9%、「自分の時間の充実」の割合が 47.9%となっています。 回答者数 = 263



(3) 小学生や中学生の頃の経験について

問 15 あなたが小学生や中学生の時に、家庭で次のような経験をしたことはありますか。(〇はいくつでも)

「自分の誕生日をお祝いしてくれたり、季節の行事を楽しんだりした」の割合が 87.2%と最も高く、次いで「学校の行事があるときは見に来てくれた」の割合が 87.0%、「家族で一緒に出掛けたり、何かに取り組んだりした(外出、運動、料理、地域の行事への参加など)」の割合が 80.8%となっています。

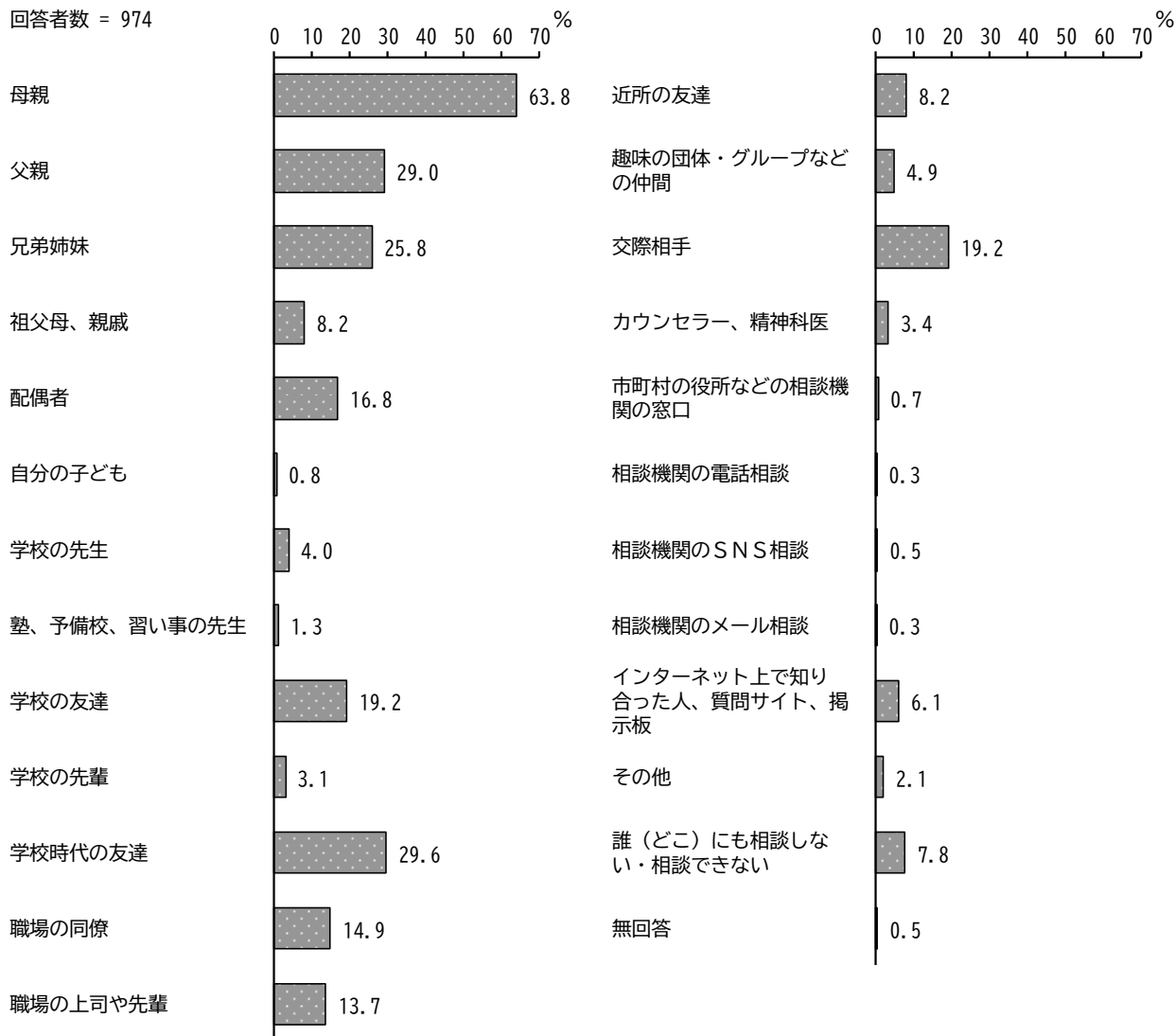


(4) 自分自身、普段の生活、悩みなどについて

問 19 あなたが何でも話せる相手や、悩んでいるときに相談に乗ってくれる人（場所）を教えてください。（〇はいくつでも）

「母親」の割合が63.8%と最も高く、次いで「学校時代の友達」の割合が29.6%、「父親」の割合が29.0%となっています。

回答者数 = 974

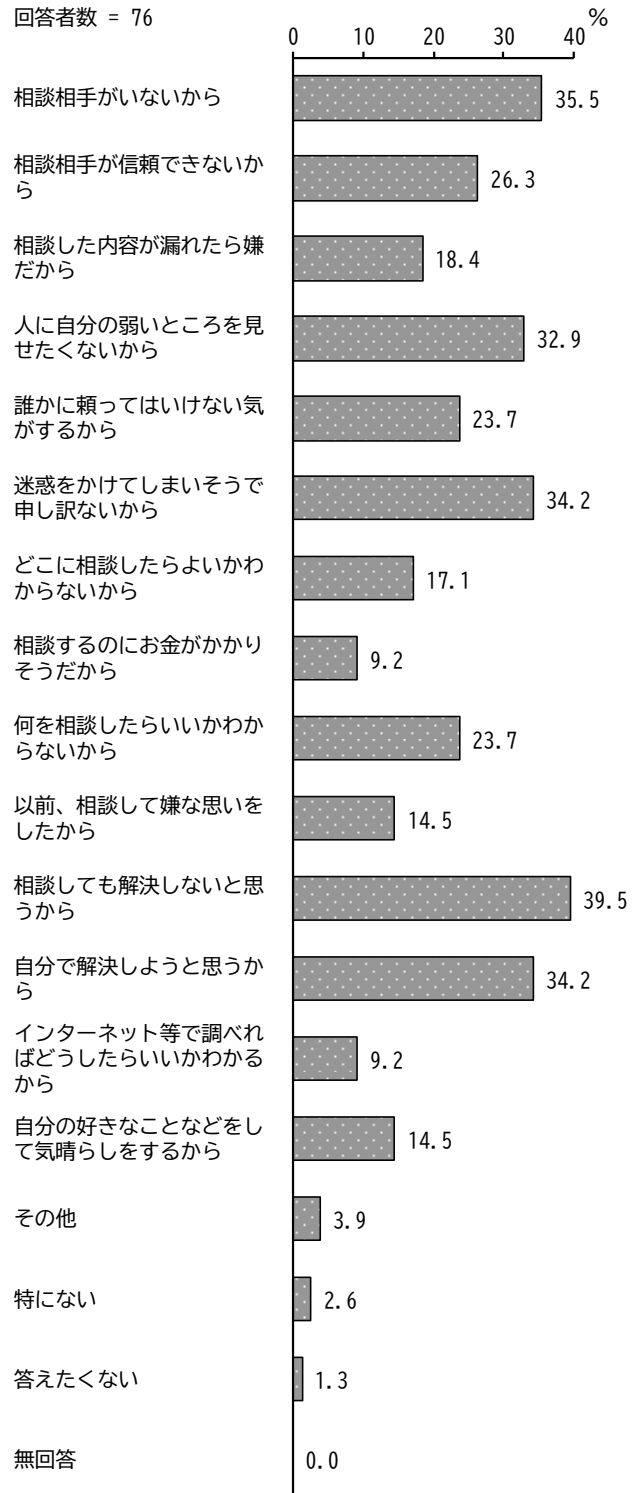


【問19で「24. 誰（どこ）にも相談しない・相談できない」に○をした方にお伺いします。】

問19-1 相談しない・相談できない理由を教えてください。（○はいくつでも）

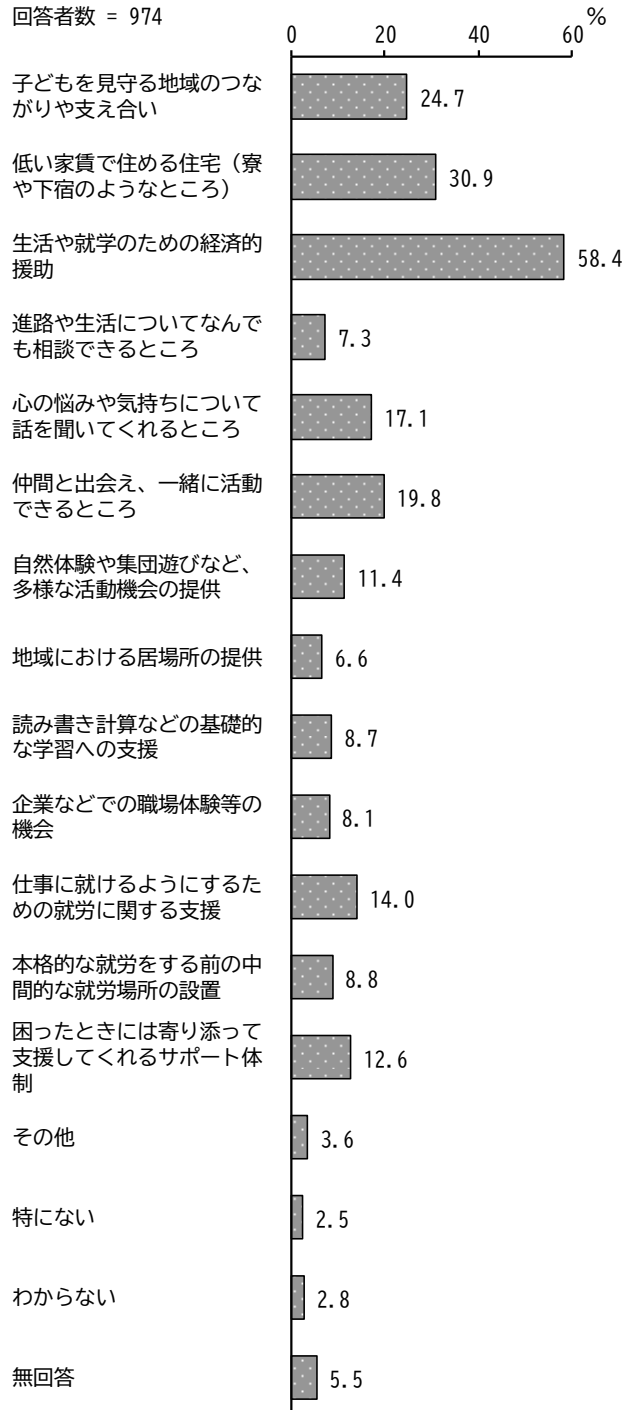
「相談しても解決しないと思うから」の割合が39.5%と最も高く、次いで「相談相手がないから」の割合が35.5%、「迷惑をかけてしまいそうで申し訳ないから」、「自分で解決しようと思うから」の割合が34.2%となっています。

回答者数 = 76



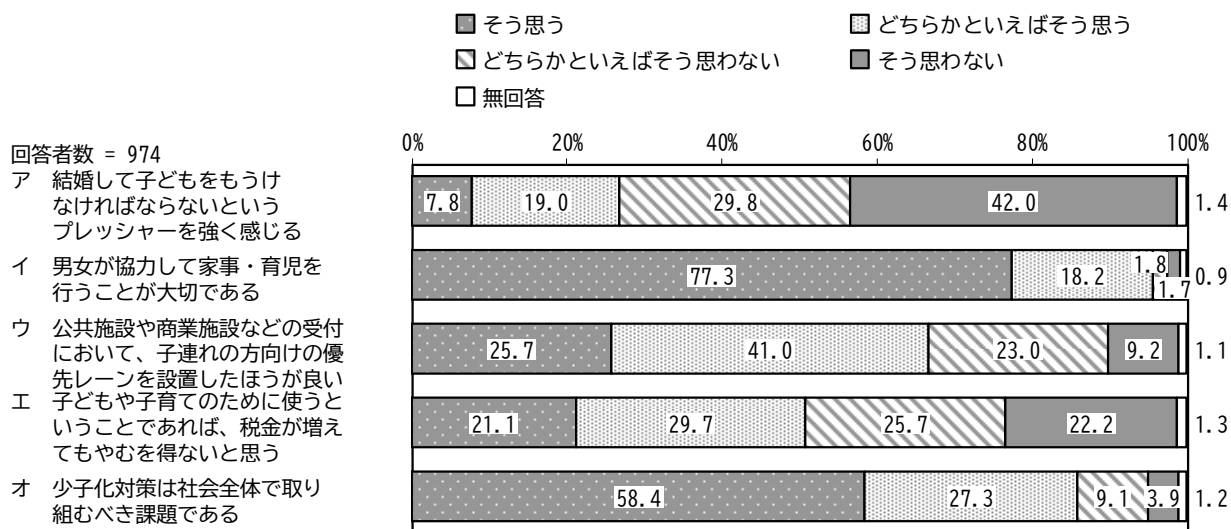
問 27 あなたは、子どもや若者に対してどのような支援があるとよいと思いますか。
(〇は3つまで)

「生活や就学のための経済的援助」の割合が 58.4%と最も高く、次いで「低い家賃で住める住宅（寮や下宿のようなところ）」の割合が 30.9%、「子どもを見守る地域のつながりや支え合い」の割合が 24.7%となっています。



問 28 次の事柄について、あなたはどのように思いますか。
(ア～オについてそれぞれ○は1つ)

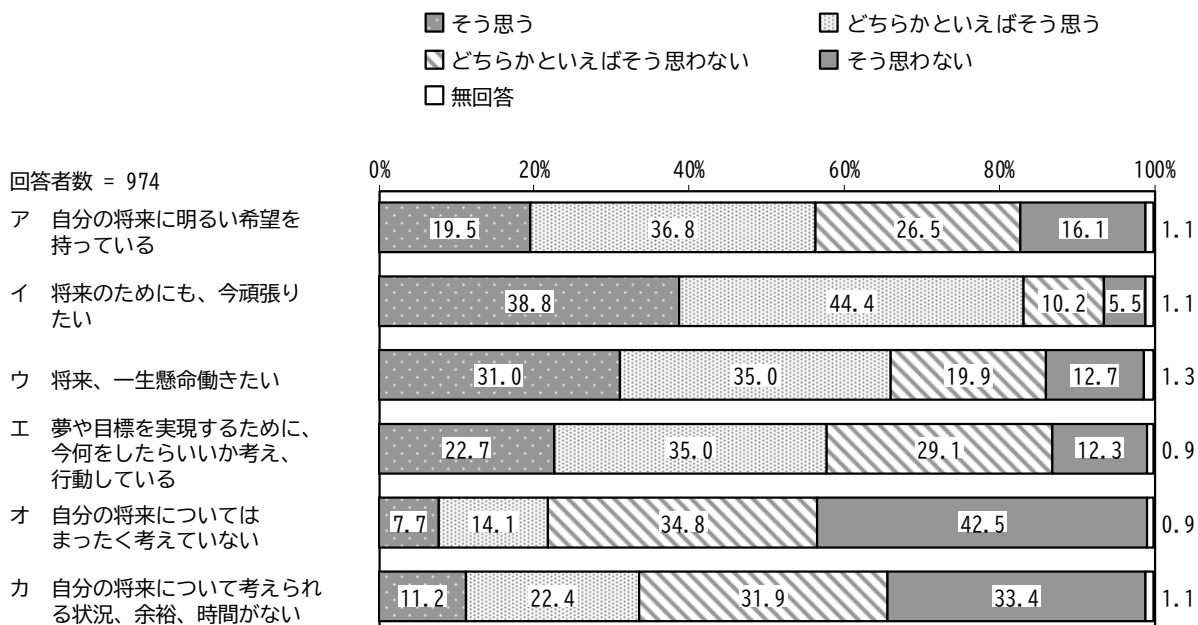
『イ 男女が協力して家事・育児を行うことが大切である』で「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた“そう思う”の割合が高くなっています。また、『ア 結婚して子どもをもうけなければならないというプレッシャーを強く感じる』で「どちらかといえばそう思う」と「そう思う」を合わせた“そう思う”の割合が高くなっています。



(5) 将来について

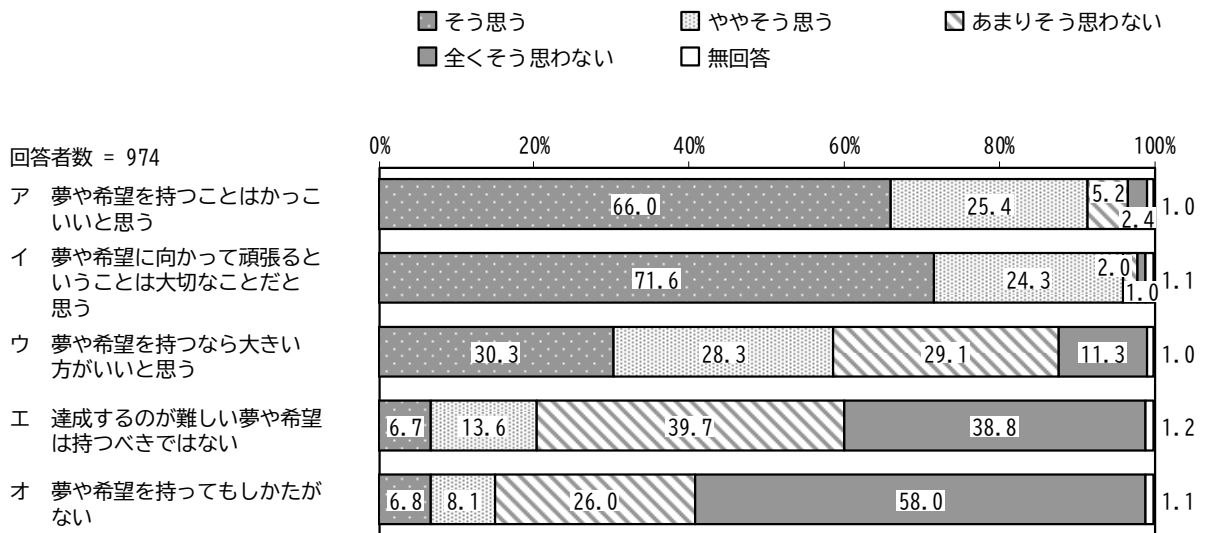
問 29 あなたは、自分の将来についてどう考えていますか。
(ア～カについてそれぞれ○は1つ)

『イ 将来のためにも、今頑張りたい』で「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた“そう思う”の割合が高くなっています。また、『オ 自分の将来についてはまったく考えていない』で「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」を合わせた“そう思わない”の割合が高くなっています。



問30 夢を持つことについて、次の項目ごとにあなたの考えに最もあてはまるものをそれぞれお答えください。(ア～オについてそれぞれ○は1つ)

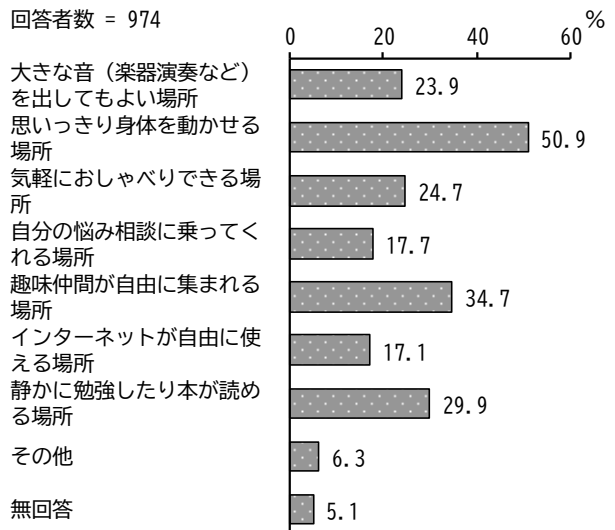
『ア 夢や希望を持つことはカッコいいと思う』『イ 夢や希望に向かって頑張るということは大切なことだと思う』で「そう思う」と「ややそう思う」を合わせた“そう思う”の割合が高くなっています。また、『エ 達成するのが難しい夢や希望は持つべきではない』『オ 夢や希望を持ってもしかたがない』で「あまりそう思わない」と「全くそう思わない」を合わせた“そう思わない”の割合が高くなっています。



(6) 川口市について

問32 あなたは、若者向けにどんな場所がもっと川口市にあればよいと思いますか。(○は3つまで)

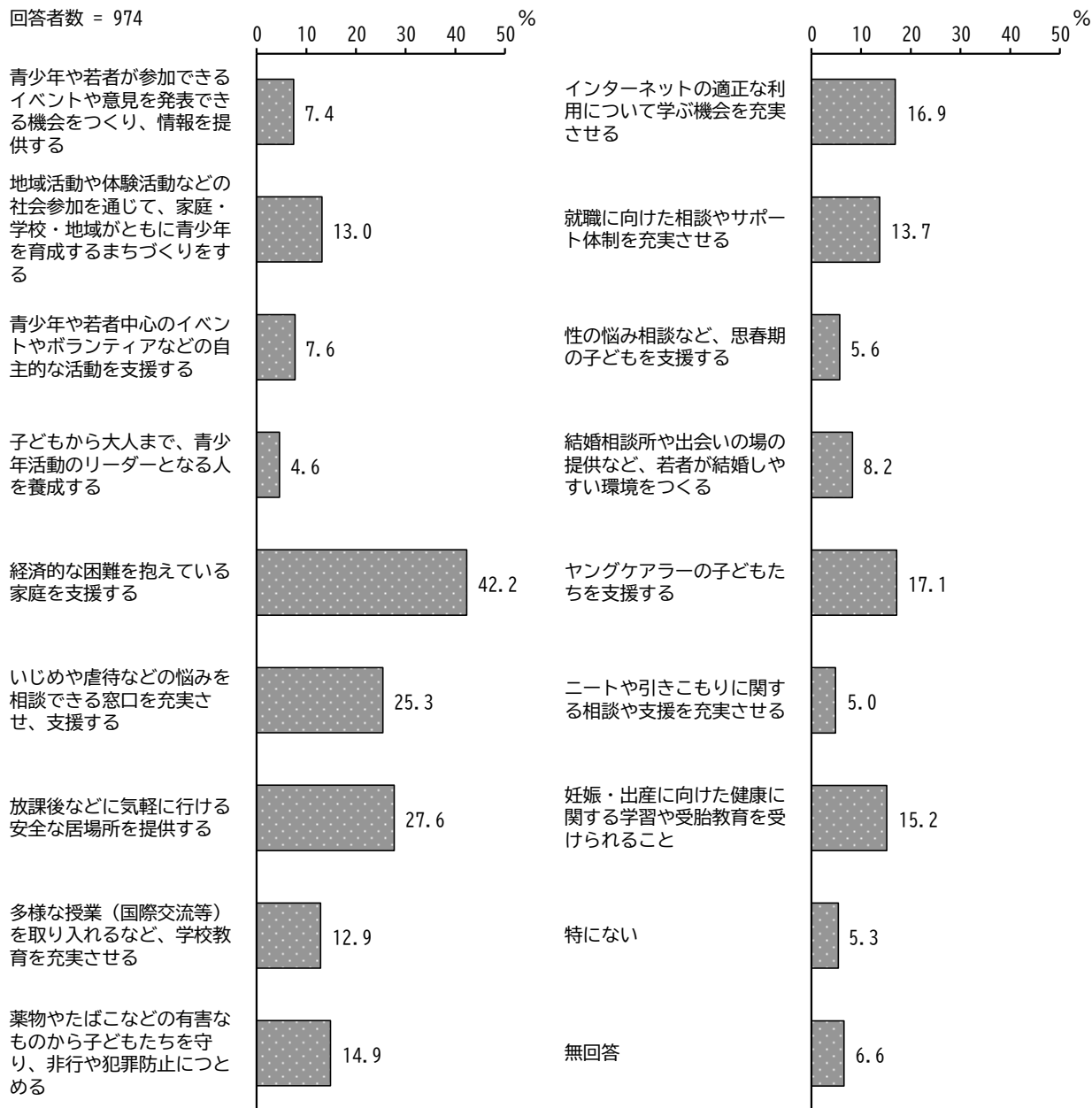
「思いっきり身体を動かせる場所」の割合が50.9%と最も高く、次いで「趣味仲間が自由に集まれる場所」の割合が34.7%、「静かに勉強したり本が読める場所」の割合が29.9%となっています。



問 34 あなたは、川口市が取り組む青少年や若者の政策にどんなことを望みますか。
(○は3つまで)

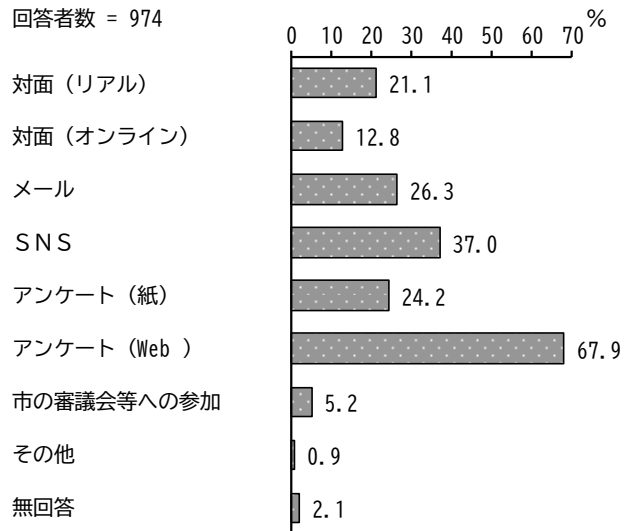
「経済的な困難を抱えている家庭を支援する」の割合が 42.2%と最も高く、次いで「放課後などに気軽に行ける安全な居場所を提供する」の割合が 27.6%、「いじめや虐待などの悩みを相談できる窓口を充実させ、支援する」の割合が 25.3%となっています。

回答者数 = 974



問 35 市の施策に対して自分の意見を言うとしたら、どのような方法で伝えたいと思いますか。(〇はいくつでも)

「アンケート (Web)」の割合が 67.9%と最も高く、次いで「SNS」の割合が 37.0%、「メール」の割合が 26.3%となっています。



川口市
子ども・子育て支援に関するニーズ調査
子どもの貧困に関する調査（子どもの生活実態調査）
子ども・若者本人調査
結果報告書（速報版）

令和6年3月

発行：川口市子ども部子ども総務課
TEL：048-252-0270（直通）
FAX：048-255-3188